

ProVisionaire Control

セットアップガイド

このたびは、ヤマハProVisionaire Control(プロビジョナーコントロール)をダウンロードいただき、ありがとうございます。

ProVisionaire Controlは、操作対象システム(CL/QL/TF、MTX/MRXシステム、RM-CG、RM-CRなど本アプリケーションから制御される機器で構成されたシステム)をWindowsコンピュータやiPadから有線LANやWi-Fiネットワークを通じてリモートコントロールするためのアプリケーションです。ボタンやスライダーなどのさまざまなウィジェットを配置して自由にコントロールパネルをデザインできるので、使用形態に合ったカスタムパネルをシステムに用意できます。

本書をお読みになる方に

本書は、本アプリケーションを使ってカスタムコントロールパネルを設計/制作/設定する方を対象としたガイドブックです。一般ユーザー向けのガイドブックではありません。

ご注意

- このソフトウェアおよびセットアップガイドの著作権はすべてヤマハ株式会社所有します。
- このソフトウェアおよびセットアップガイドの一部または全部を無断で複製、改変することはできません。
- このソフトウェアおよびセットアップガイドを運用した結果およびその影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- このセットアップガイドに掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。
- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- iPadは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- PostgreSQLは、PostgreSQLの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- 商用目的で音源を使う場合、著作権にご注意ください。著作権の侵害は法律上禁止されています。
- 本書に記載されている会社名および製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。
- アプリケーションソフトウェアは、改良のため予告なしにバージョンアップすることがあります。最新のアプリケーションソフトウェアは、ヤマハプロオーディオサイトからダウンロードできます。

<https://www.yamaha.com/2/provisionaire/>

目次

ProVisionaire Controlでできること	5
ソフトウェアの動作環境.....	6
理解しておく用語/概念	7
インストールの手順.....	9
画面構成	10
基本的なプロセス	12
起動し、機器を登録する	12
ページにウィジェットを配置する	14
ウィジェットを識別しやすくする	16
ページを追加する	19
ページの背景を設定する	25
ウィジェットの配置を調整する.....	26
プロジェクトファイルを保存する	26
動作を確認する.....	27
セキュリティを設定する	28
コントローラーファイルを作る.....	32
KIOSKを自動起動させる.....	32
MTX/MRXシステムのパラメーターやメーターを追加する.....	33
イニシャルモード特有の機能.....	34
「Transfer Controller File」 ダイアログ	34
タイトルバー	36
メニューバー	38
ツールバー.....	43
「Controllers」 エリア.....	44
ボタン.....	44
コンテキストメニュー.....	45
プロパティー	45

「Devices」 エリア	48
ボタン	49
コンテキストメニュー	49
プロパティ	49
「Widgets」 エリア	50
ワークエリア	51
ボタン	51
「Properties」 エリア	53
ボタン	53
ウィジェット	54
ボタン	54
ボタンのプロパティ	55
スライダー	59
スライダーのプロパティ	59
ダイアル	62
ダイアルのプロパティ	62
メーター	64
メーターのプロパティ	64
インジケーター	66
インジケーターのプロパティ	66
SDメモリー関連	69
SDメモリー関連のプロパティ	69
ライン	72
ラインのプロパティ	72
図形と画像	73
図形と画像のプロパティ	73
数値の表示と入力	75
数値のプロパティ	75
システムモニター	77
システムモニターのプロパティ	77
Expansion Modeについて	79

ダイアログやウィンドウ	80
[Setup] ダイアログ	80
[Network] タブ	80
[Security] タブ	81
[Log] タブ	82
[Other Settings] タブ	83
[New Project Wizard] ダイアログ	84
1/2 Create Controller	84
2/2 Add Device	85
[Add Controller] ダイアログ	86
[Run Controller File] ダイアログ	87
[Import Controller File] ダイアログ	88
[Select Controllers to Import] ダイアログ	88
[Export Controller File] ダイアログ	89
[To Your Computer] タブ	89
[To ProVisionaire Touch Kiosk] タブ	90
[Imported Images] ダイアログ	91
[Add Device] ダイアログ	92
[Target Editor] ダイアログ	93
[Edit Text] ダイアログ	94
[Edit Device Identifier] ダイアログ	94
[Select Image] ダイアログ	95
[From Folder] タブ	95
[From Project File] タブ	96
[Style] ダイアログ	97
[System Monitor] ウィンドウ	98
機器一覧	98
機器詳細	99
[ProVisionaire Monitoring Service Settings] 画面	103
IPアドレスの設定方法	104
Tips	105
困ったときは	107

ProVisionaire Controlでできること

- ProVisionaire Controlは特別なプログラミングの習得を必要とせず、直感的にスライダー、ボタン、写真などのウィジェットをページ(画面)上に配置し、設備物件内容や使用形態に応じたお客様オリジナルのコントロールパネルを作成できます。
- 1つのページに複数の機器のウィジェットを配置できます。ProVisionaire Control KIOSK(以降KIOSK)用のページでは最大1024個のウィジェットを、ProVisionaire Touch KIOSK用のページでは最大150個のウィジェットを配置できます。なお、KIOSK用のコントローラー 1つについて配置できるウィジェットの数は最大30000個となります。
- ページはコントローラー 1つあたり最大50ページ用意できますので、エリア、ユーザーごとのコントロールパネルを作ったり、特定のプリセット、パラメーターの状態に応じたデザインページを制作できます。そしてコントロールパネルやデザインページをアクセス制御することで、より安全で利便性の高いコントローラーの運用が可能となります。
- 完成したコントロールパネルのデータはコントローラー単位でKIOSK用やProVisionaire Touch KIOSK用のファイルとしてエクスポートできます。複数台でコントローラーを同じ物件で使用したり、テンプレートとして保存し、別の物件での使用や共有をすることで、効率的で便利なコントローラー制作が可能となります。
- 操作対象システムとはWi-Fi経由でも接続できますので、タブレットPCを壁へ埋込むだけでなく、持ち歩いて操作することで、小回りの利く便利なりモートコントローラーとして運用できます。
- 対応機器の稼働状況がKIOSKで確認できます。

ソフトウェアの動作環境

ソフトウェアの動作環境については、ヤマハプロオーディオサイトをご確認ください。

<https://www.yamaha.com/2/provisionaire/>

理解しておく用語/概念

ロール

ProVisionaire Controlでは以下のロール(役割)があります。

- **Administrator(管理者)**

コントロールパネルを設計/編集する人(主に施工会社の方)。このセットアップガイドを読む人です。機能制限解除をするためのAdministrator Code(4桁)を知っています。

- **Power User(パワーユーザー)**

設備の音響責任者など。アクセス制限をかけたページへの移動や、設定ファイルの変更をするためのPower User Code(4桁)を知っています。

- **Staff(スタッフ)**

パラメーターを操作する人。スクリーンロックを解除するためのUnlock Code(4桁)を知っています。

- **Guest(ゲスト)**

訪問客など操作権限がない人。

各ロールでできることは以下となります。

	Administ-rator	Power User	Staff	Guest
スクリーンロック解除	—	—	✓	—
パラメーター操作	✓	✓	✓	—
コントローラーファイルの変更	✓	✓	—	—
デザインの変更	✓	—	—	—

ソフトウェア

ProVisionaire Controlでは以下の関連するソフトウェアがあります。

- **ProVisionaire Control**

WindowsやiPadで動作するリモートコントローラーをデザインするためのソフトウェアです。管理者が使用します。

- **ProVisionaire Control KIOSK**

Windowsで動作するリモートコントロールに特化したソフトウェアです。パワーユーザーやスタッフが使用します。本書では以降KIOSKと略記します。

- **ProVisionaire Touch KIOSK**

iPadで動作するリモートコントロールに特化したソフトウェアです。パワーユーザーやスタッフが使用します。ProVisionaire Control V3以降で対応しています。

- **ProVisionaire Monitoring Service**

対応機器の稼働状況を監視するソフトウェアです。稼働状況は[System Monitor]ウィジェットで確認できます。稼働状況を確認するためには同一ネットワーク内で1台はこのソフトウェアが稼働しているコンピューターが必要です。同一ネットワーク内には3台以上このソフトウェアが稼働しているコンピューターを接続しないでください。機器側の稼働情報を送受信するポートが2つなので、3台目以降は稼働情報を取得できません。

単位

ProVisionaire Controlでは構成を考える上で以下の単位があります。

- **プロジェクト**

案件別の単位。建物全体やホール全体という単位で使用します。

• コントローラー

KIOSKやProVisionaire Touch KIOSKで扱う単位。舞台袖やFoHなどの場所別や使用者別に作成できます。1つのプロジェクトにつき20個までのコントローラーが作成できます。

• ページ

デバイスを制御する際の、「複数のウィジェット(ボタンやスライダーなど)から構成される画面」をページと呼んでいます。1つのコントローラーにつき50ページまで作成できます。ホームページに設定されたページがKIOSKやProVisionaire Touch KIOSKでファイルを開いたときに表示されます。

ファイル

ProVisionaire Control、KIOSKおよびProVisionaire Touch KIOSKでは以下のファイルを使用します。

• プロジェクトファイル(拡張子.pvcproj)

ProVisionaire Controlのすべての設定が記述されているファイル。複数のコントローラー情報やページ情報や画像、制御デバイスの情報などが記述されています。

• コントローラーファイル(拡張子.ypvc)

KIOSK用の読み込み専用設定ファイル。1つのコントローラー情報や複数のページ情報、画像、制御デバイスの情報などが記述されています。

• ProVisionaire Touch KIOSK用コントローラーファイル(拡張子.ypvtk)

ProVisionaire Touch KIOSK用の読み込み専用設定ファイル。1つのコントローラー情報や複数のページ情報、画像、制御デバイスの情報などが記述されています。

• スタイルファイル(拡張子.ypvcs)

ProVisionaire Control用のスタイルを保存したファイル。他のプロジェクトで作成したスタイルの情報が記述されています。

モード

ProVisionaire ControlやKIOSKでは以下のモードがあります。

• Initial Mode(イニシャルモード)

ファイルが読み込まれていないモード。このモードからファイルを読み込む操作をすることでProVisionaire ControlはDesign Modeに、KIOSKではControl Modeに遷移します。

• Design Mode(デザインモード)

ProVisionaire Controlでコントローラー / ページの作成や編集をするためのモード。KIOSKにはありません。Administratorの権限が必要です。この状態では操作対象システムとオンラインになっていません。

• Control Mode(コントロールモード)

KIOSKでネットワーク上の機器群とオンラインにしてコントロール/モニターするためのモード。コントローラーファイルの変更にはAdministratorかPower Userの権限が必要です。

その他

このセットアップガイドでは以下の用語も使用します。

• Widget(ウィジェット)

スライダーやボタン、画像などのGUIパーツ。これらのパーツはデバイスのパラメーターを割り当て、フェーダーやOn/Offのパラメーターと同期させることができます。

• Style(スタイル)

プロジェクトファイルにおけるスタイル(ウィジェットの色や形状に関する情報)のデフォルト。ウィジェットごとにスタイルを設定できます。スタイルファイルとしてエクスポートして、他のプロジェクトでインポートすることで同じスタイルを設定できます。

インストールの手順

ProVisionaire Control、KIOSKおよびProVisionaire Monitoring Serviceのインストーラーはヤマハプロオーディオサイトからダウンロードしてください。

<https://www.yamaha.com/2/provisionaire/>

ダウンロードした圧縮ファイルを解凍し、Install_PVControl.exe、Install_PVControlKIOSK.exe、およびInstall_PVMonitoringService.exeをダブルクリックしたあと、インストーラーに従ってインストールしてください。

ProVisionaire Monitoring Serviceをインストールすると、同時にPostgreSQLもインストールされます。「Yamaha ProVisionaire Monitoring Service」をアンインストールすると、PostgreSQLもアンインストールされます。

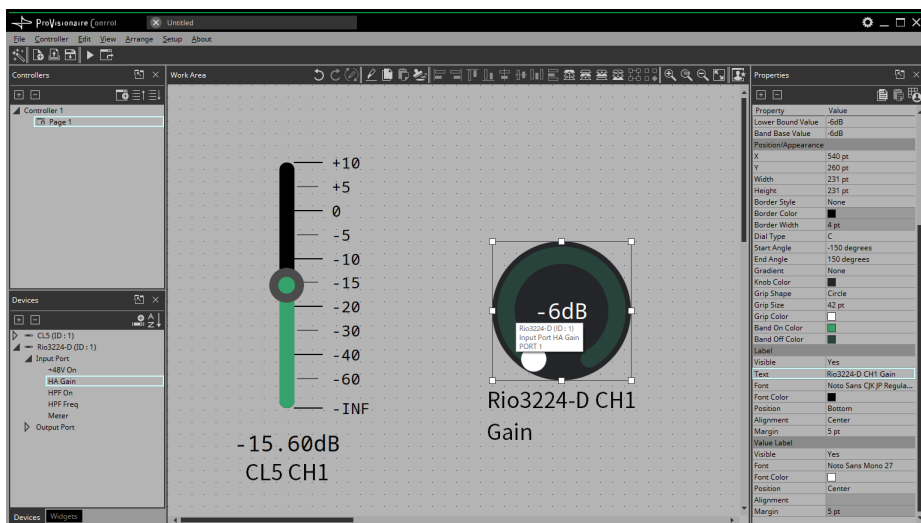
NOTE

ProVisionaire Monitoring Serviceの機能を使う場合、以下のパターンがあります。

- **ProVisionaire ControlやKIOSKもProVisionaire Monitoring Serviceも1台のコンピュータにインストールする場合**
特に意識しなくてもオンラインにして、「ProVisionaire Monitoring Service」ウィンドウを開けば対象機器の稼働情報を確認できます。
ProVisionaire Monitoring Serviceをインストールする前にPostgreSQLがインストールされている場合、PostgreSQLの登録済みスーパーユーザーのユーザー名とパスワードの入力を求められます。
- **ProVisionaire ControlやKIOSKのみインストールし、他のコンピュータにインストールされたProVisionaire Monitoring Serviceから稼働情報を取得する場合**
「Setup」ダイアログの[Log]タブで、ProVisionaire Monitoring Serviceがインストールされているコンピュータの情報を設定してください。
- **ProVisionaire Monitoring Serviceのみインストールする場合**
ProVisionaire Monitoring Serviceをインストールする前にPostgreSQLがインストールされている場合、PostgreSQLの登録済みスーパーユーザーのユーザー名とパスワードの入力を求められます。

画面構成

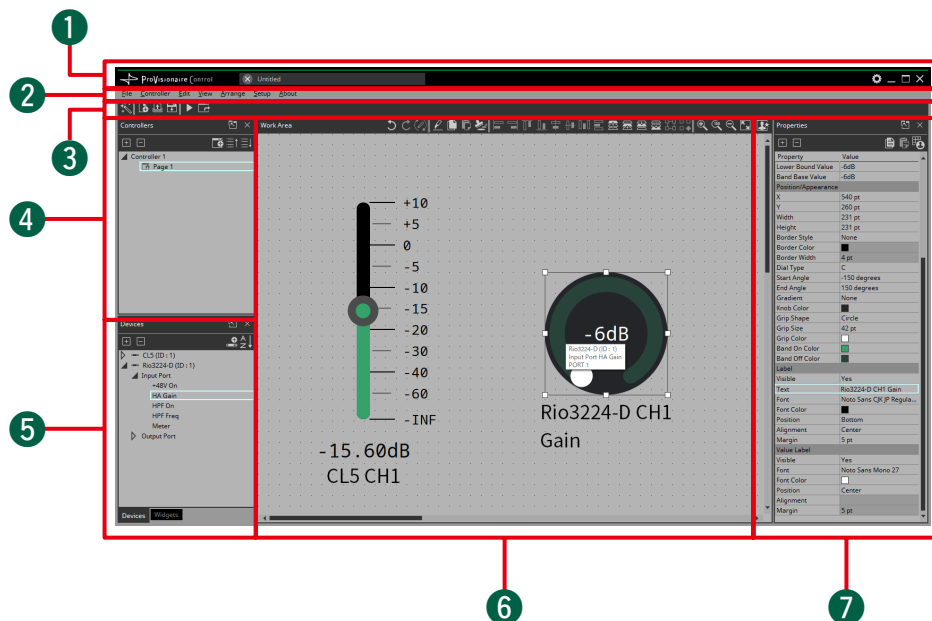
ProVisionaire Controlのデザインモードは「タイトルバー」「メニューバー」「ツールバー」「Controllersエリア」「Devicesエリア」「Widgetsエリア」「ワークエリア」「Propertiesエリア」から構成されています。



ワークエリア以外のエリアの右上には  がありますが、クリックするとエリアがフロート化(Undock)して、ワークエリアを広く使うことができます。フロート化を解除する場合は右上にある  をクリックしてください。

また、「View」メニューの[Dock All]を実行すると、すべてのエリアのフロート化が解除されます。

ワークエリアとエリアの境部分にカーソルを置くと、カーソルの形状が変わり、ドラッグすることでエリアの幅を変更できます。



① タイトルバー

プロジェクトファイル名を表示します。また、[Setup] ボタンなどを配置しています。(36 ページ)

② メニューバー

ProVisionaire Controlで実行できるコマンドが、カテゴリーごとにまとめられています。(38 ページ)

③ ツールバー

よく使うコマンドをボタンにして配置しています。(43 ページ)

④ 「Controllers」 エリア

プロジェクトのコントローラーとページのリストです。コントローラーやページの追加もこのエリアで行います。(44 ページ)

⑤ 「Devices」 / 「Widgets」 エリア

「Devices」 はプロジェクトで使用する機器とパラメーターのリストです。(48 ページ)

「Widgets」 は使用可能なウィジェットのリストです。(50 ページ)

⑥ ワークエリア

「Devices」 / 「Widgets」 エリアからドラッグ&ドロップしてウィジェットの配置をするエリアです。(51 ページ)
上部によく使う機能をボタンにしています。

⑦ 「Properties」 エリア

現在選択されているウィジェット、ページ、コントローラー、機器の情報のリストです。クリックすることで編集できます。内容については各エリアやウィジェットの説明ページを参照してください。

基本的なプロセス

簡単なページの制作を例に、起動から機器をコントロールするまでのプロセスを解説します。今回はCL5(コンソールID=1)のインプットチャンネル1のレベルとオン/オフを配置します。

MRXの場合はこの手順ではウィジェットの配置ができませんので、[「MTX/MRXシステムのパラメーターやメーターを追加する」](#)を参照してください。

起動し、機器を登録する

ProVisionaire Controlを起動し、コントローラーとページを作成し、制御する機器を登録しましょう。

1. ProVisionaire Controlを起動する。

[スタート]ボタン→[すべてのプログラム]または[すべてのアプリ]→[Yamaha ProVisionaire Control]→[ProVisionaire Control Vx.x] (x.xはバージョン番号)を選択すると起動します。

2. プロジェクトを新規に作成する場合は、[New Project] ボタン をクリックする。

既存のファイルを読み込む場合は、[File]メニューから[Open Project File]を選択して、読み込むファイルを選択する。

ここでは[New Project]ボタンをクリックした場合を説明します。

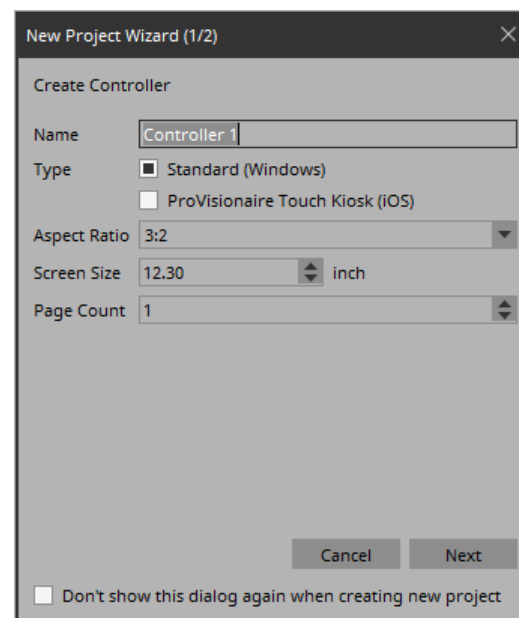


3. 「Setup」ダイアログが表示されたら、[OK]または[Cancel]をクリックする。

ProVisionaire Controlが起動し、「New Project Wizard」ダイアログが開きます。

NOTE

ネットワークアダプターを選択して[OK]をクリックした場合、ProVisionaire Controlがインストールされたコンピューターをネットワークにつなげることで、機器を認識します。「Devices」エリアの該当機器を右クリックして[Add]を選択することで登録します。



4. コントローラーを動かす端末画面(KIOSKがインストールされる施工先のコンピューターの画面)に合わせた設定をして[Next]ボタンをクリックする。

この例では初期設定のままとします。

[Type]と[Aspect ratio]以外はあとで変更可能です。

NOTE

ProVisionaire Touch KIOSKで使うコントローラーの場合は、[Type]ラジオボタンで「ProVisionaire Touch Kiosk」を選択してください。

ProVisionaire Touchにないウィジェットは配置できないようになります。

Tips

画面のアスペクト比がわからない場合は、[3:2]を選択して、ウィジェットを配置します。

アスペクト比が確定したら、該当するコントローラーを作成し、ページごとに<Ctrl>+<A>で全ウィジェットを選択したあと、<Ctrl>+<C>でコピーし、新しいコントローラーのページに<Ctrl>+<V>でペーストしてから再配置するという方法があります。

5. 以下の設定をして、[Add]ボタンをクリックする。

[Device Type] =[Digital Mixers]

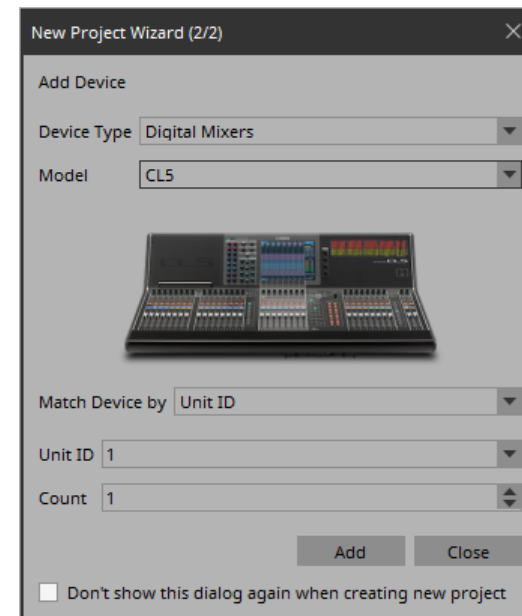
[Model] =[CL5]

[Match Device by] =[Unit ID]

[Unit ID] =[1]

[Count] =[1]

Unit ID=1のCL5が「Devices」エリアに追加され、ダイアログが閉じます。

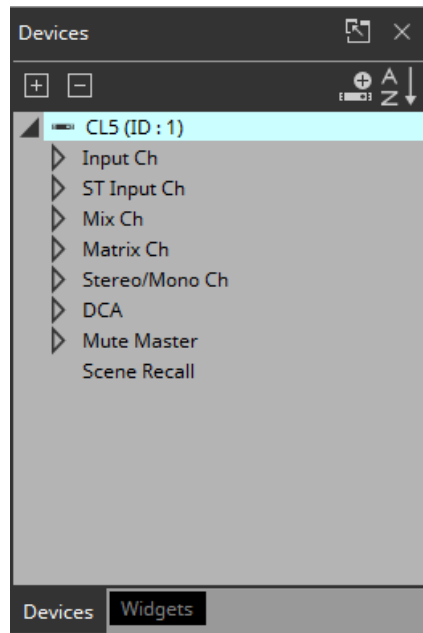


ページにウィジェットを配置する

CL5のパラメーターがコントロールできるように、ワークエリアにウィジェットを配置しましょう。

1. 「Devices」エリアの「Device List」のCL5の左側にある三角形 ▶ をクリックする。

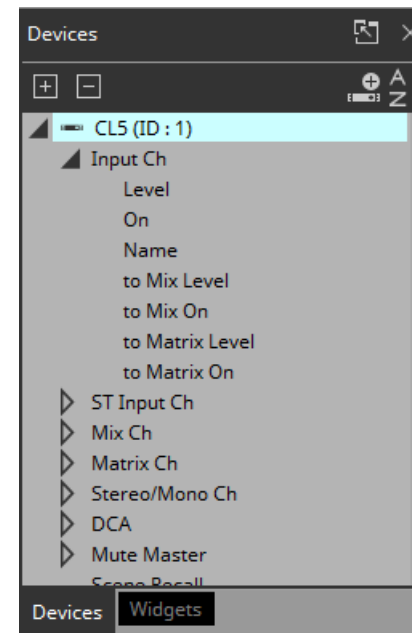
パラメーターグループが展開されます。



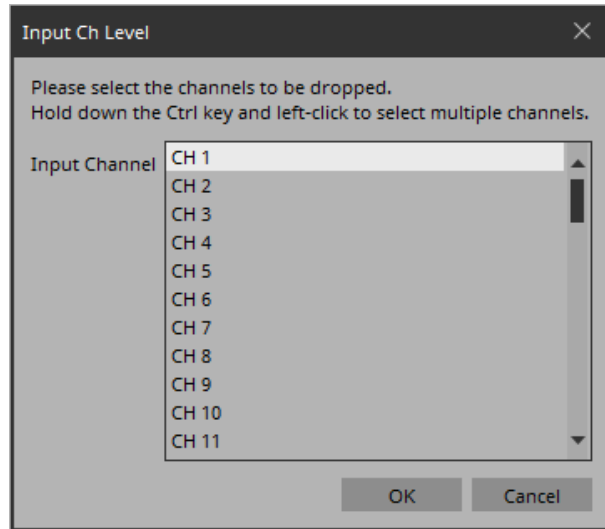
2. 配置したいパラメーターが属するパラメーターグループの左側にある三角形 ▶ をクリックする。

パラメーターが展開されます。

今回はインプットチャンネル1のレベルとオン/オフなので [Input Ch] が対象です。



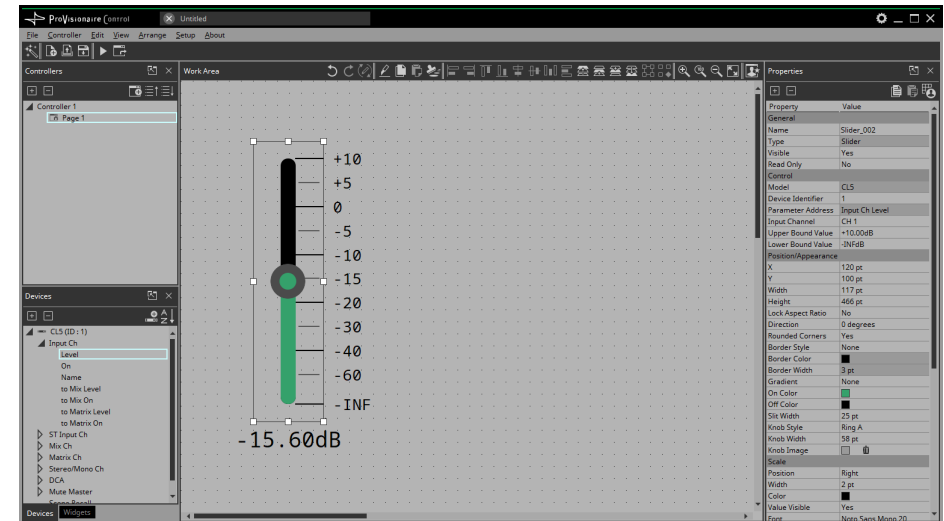
3. [Level]をワークエリアにドラッグ&ドロップする。
「Input Ch Level」ダイアログが開きます。



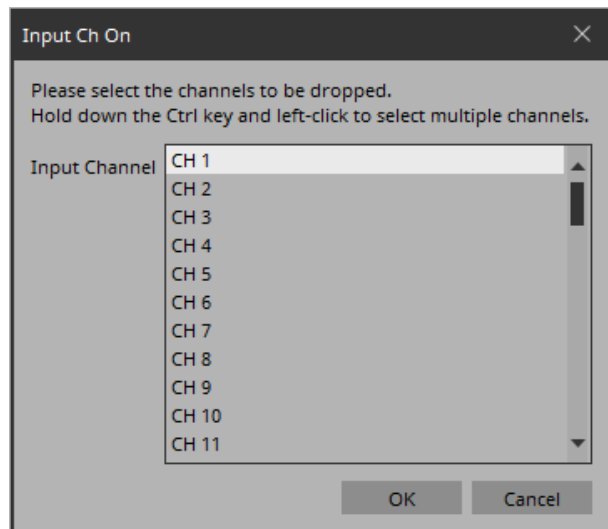
Tips

<Ctrl>キーや<Shift>キーを押しながら選択することで、複数のチャンネルを選択でき、複数のスライダーを同時に配置できます。

4. [CH1]を選択して、[OK]ボタンをクリックする。
ワークエリアにスライダーが配置されます。



5. [On]をワークエリアにドラッグ&ドロップする。
「Input Ch On」 ダイアログが開きます。

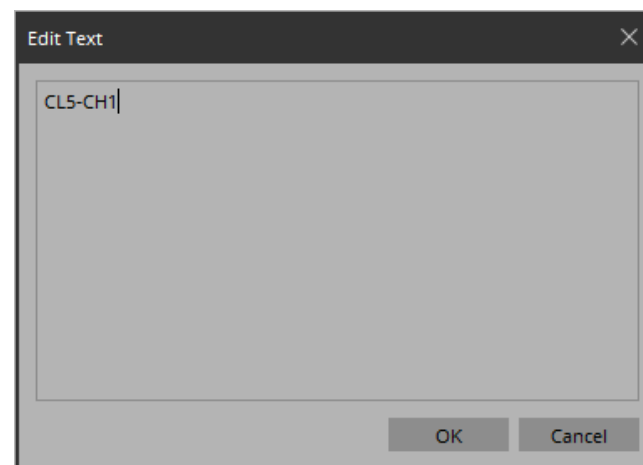


6. [CH1]を選択して、[OK]ボタンをクリックする。
ワークエリアにボタンが配置されます。
7. スライダーやボタンをドラッグ&ドロップして好きな位置に配置する。

ウィジェットを識別しやすくする

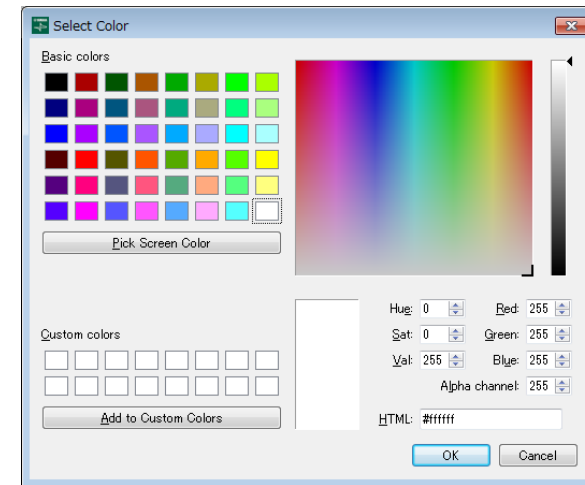
ウィジェットを配置しただけではKIOSKではどのようなウィジェットなのか識別できないので、KIOSKでも識別できるようにしましょう。

1. スライダーをクリックする。
スライダーが選択された状態になります。
2. 「Properties」エリアの「Label」の「Text」の右側の欄をクリックする。
「Edit Text」ダイアログが開きます。
3. スライダーの名称を入力する。
今回は「CL5-CH1」とします。

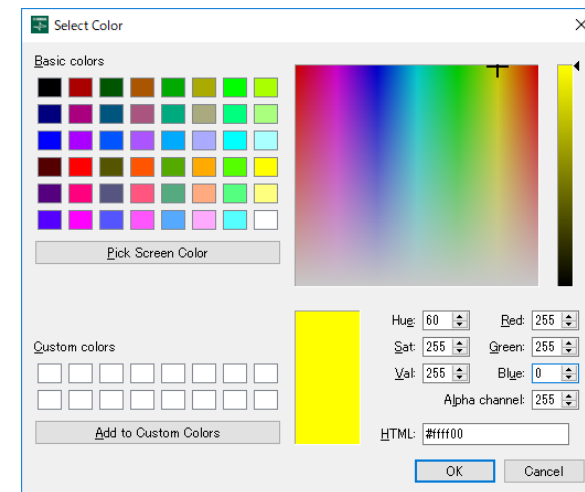


4. [OK] ボタンをクリックする。
入力が確定して、スライダーの下に名称が表示されます。
5. ボタンにも同様に「CL5-CH1」というラベルをつける。
6. ボタンの「Properties」エリアの「Text」の「On Text」の右側の欄をクリックする。
「Edit Text」ダイアログが開きます。
7. オンの時のテキストを入力する。
今回は「ON」とします。
8. 「Text」の「Off Text」の右側の欄をクリックする。
「Edit Text」ダイアログが開きます。
9. オフの時のテキストを入力する。
今回は「OFF」とします。

10. 「Text」の「Off Color」の右側の欄をクリックする。
「Select Color」ダイアログが開きます。



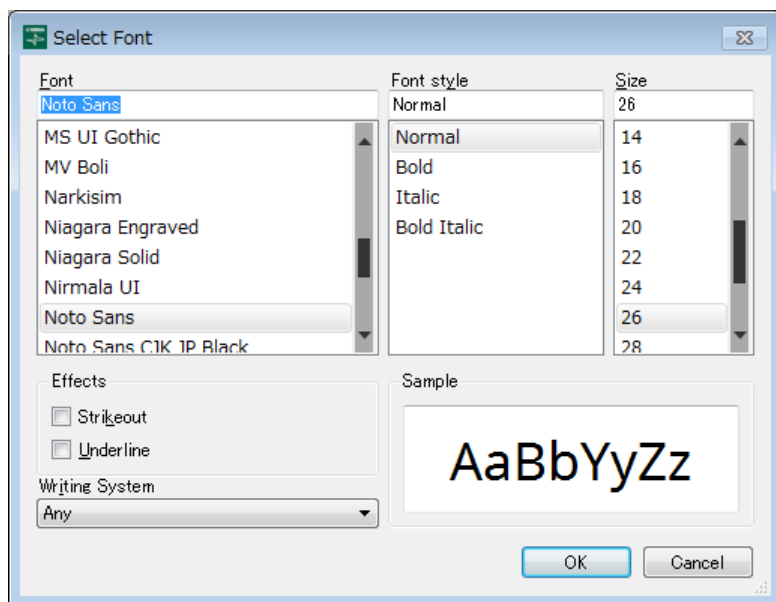
11. オフの時の文字を他の色を選択する。
今回は黄色とします。



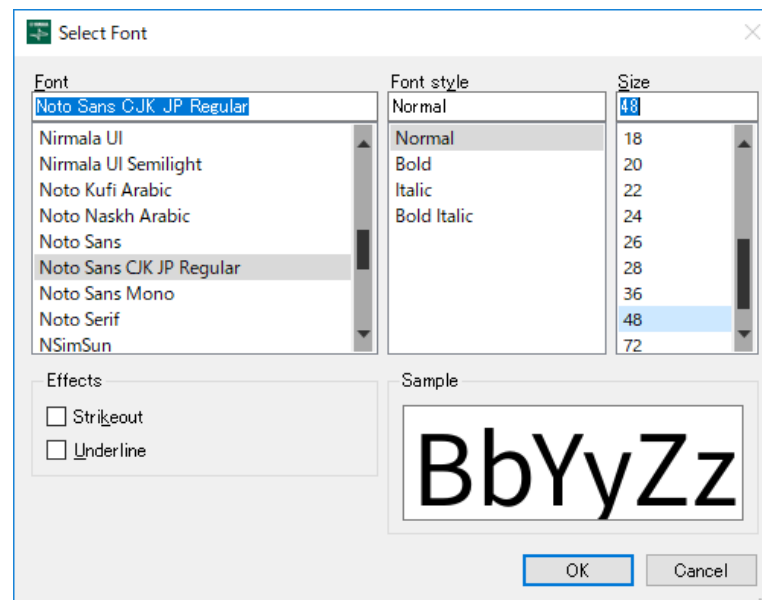
- 12.** [OK] ボタンをクリックする。
ダイアログが閉じて、オフの時の文字色が黄色になります。



- 13.** 「Text」 の「Font」 の右側の欄をクリックする。
「Select Font」 ダイアログが開きます。



- 14.** ボタンがオン/オフの時の文字列に関するフォントの調整をする。
今回は文字の大きさを48ポイントとします。

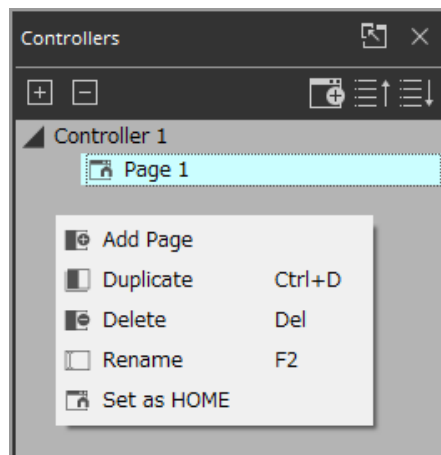


- 15.** [OK] ボタンをクリックする。
ダイアログが閉じて、オン/オフの時の文字サイズが変化します。

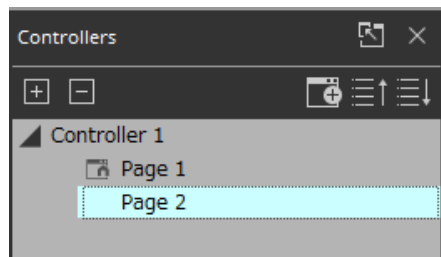
ページを追加する

コントローラーにページを追加して、ページを切り替えるためのボタンを追加しましょう。

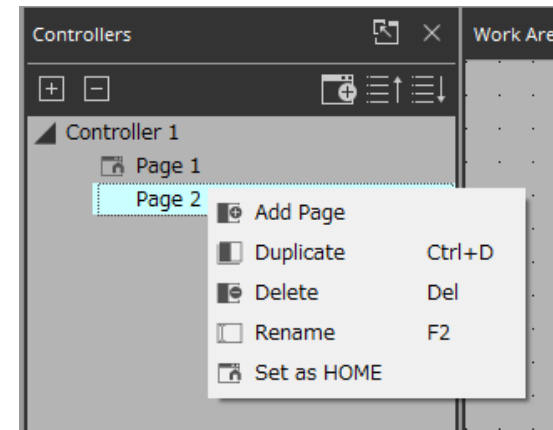
1. 「Controllers」 エリアの任意の場所で右クリックする。
コンテキストメニューが表示されます。



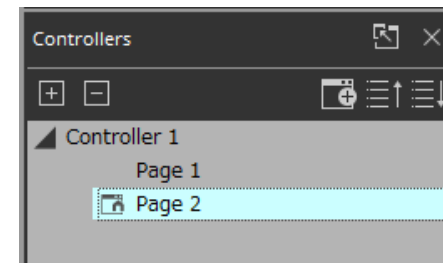
2. 「Add Page」を選択する。
[Controller 1]にページが追加され、ワークエリアが追加したページのものに切り替わります。



3. 追加されたページを右クリックする。
コンテキストメニューが表示されます。

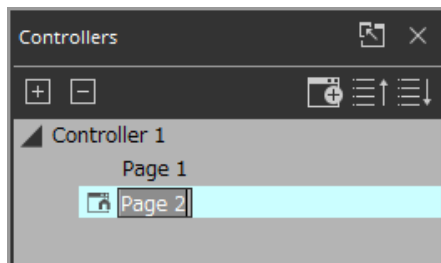


4. 「Set as HOME」を選択する。
追加したページがホームページとなります。

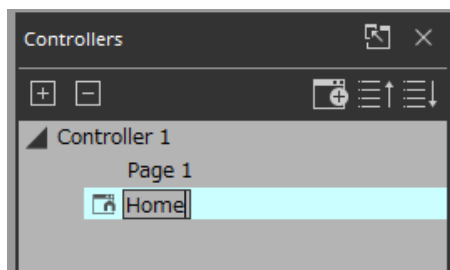


5. 追加されたページを右クリックする。
コンテキストメニューが表示されます。

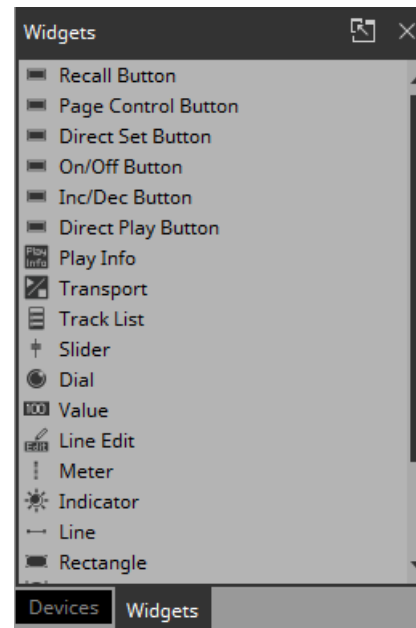
6. [Rename]を選択する。
ページの名称が変更できるようになります。



7. ページの名称を入力する。
今回はこのページがホームページなので、「Home」とします。



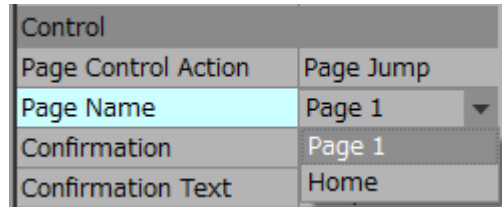
8. 「Devices」エリアの[Widgets]タブをクリックする。
エリアが「Widgets」エリアに切り替わります。



9. [Page Control Button]をワークエリアにドラッグ&ドロップする。
ページを切り替えるためのボタンがワークエリアに配置されます。

- 10.** 「Properties」 エリアの「Control」 の「Page Name」の右側の欄をクリックする。

ボタンをクリックすると切り替えるページがリスト表示されます。



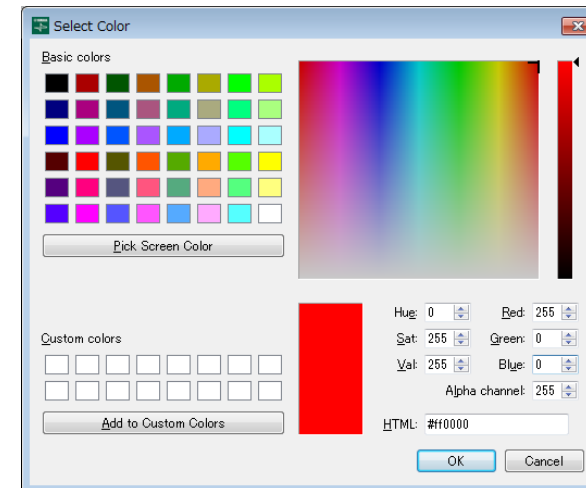
- 11.** [Page 1]を選択する。

コントロールモードのときに、ボタンをクリックすると「Page 1」に切り変わるようになります。

- 12.** 「Position/Appearance」 の「Color」 の右側の欄をクリックする。

「Select Color」 ダイアログが開きます。

- 13.** ボタンをクリックしたときの色を選択する。
今回は赤色とします。

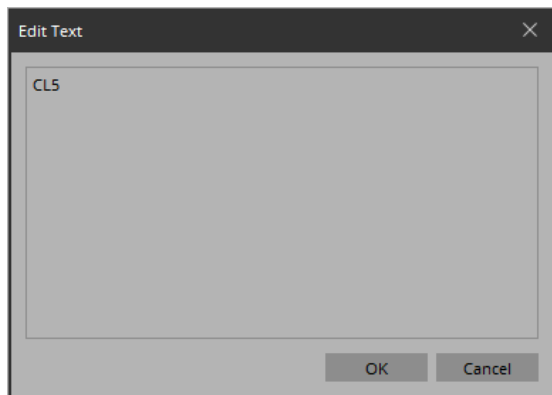


- 14.** [OK]ボタンをクリックする。

ダイアログが閉じて、ボタンの色が赤になります。

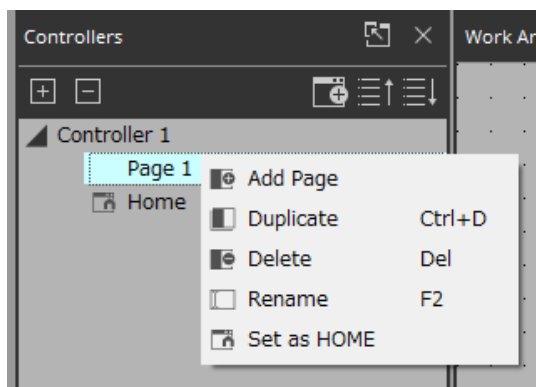
- 15.** 「Label」 の「Text」 の右側の欄をクリックする。
「Edit Text」 ダイアログが開きます。

- 16.** ボタンの名称を入力する。
今回は「CL5」とします。

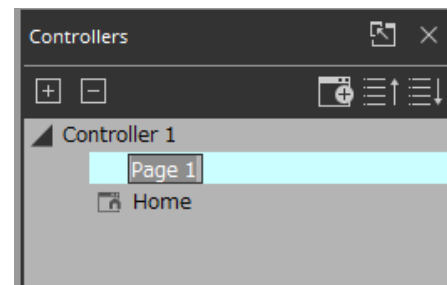


- 17.** [OK] ボタンをクリックする。
ボタンの下に「CL5」と表示されます。

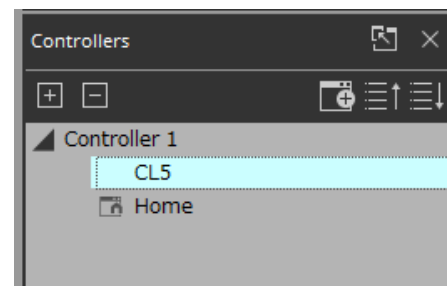
- 18.** 「Controllers」 エリアの[Page 1]を右クリックする。
Page 1のワークエリアが表示され、コンテキストメニューが表示されます。



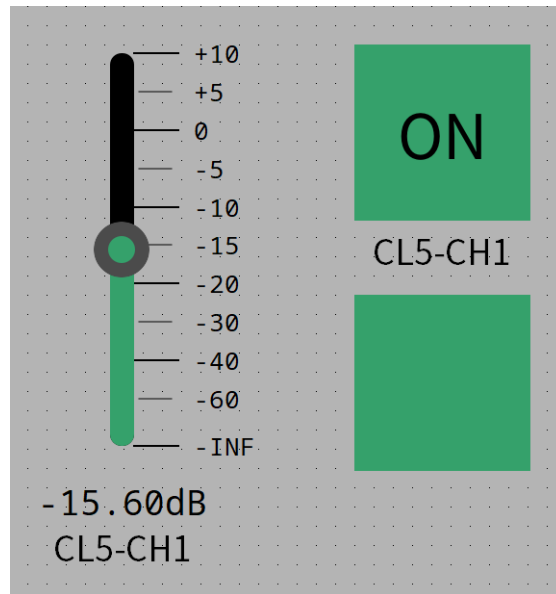
- 19.** [Rename]を選択する。
「Page 1」の名称をキーボードで入力できるようになります。



- 20.** ページの名称を入力する。
今回はこのページがCL5専用なので、「CL5」とします。



- 21.** [Widgets] エリアの[Page Control Button]をワークエリアにドラッグ&ドロップする。
ページを切り替えるためのボタンがワークエリアに配置されます。

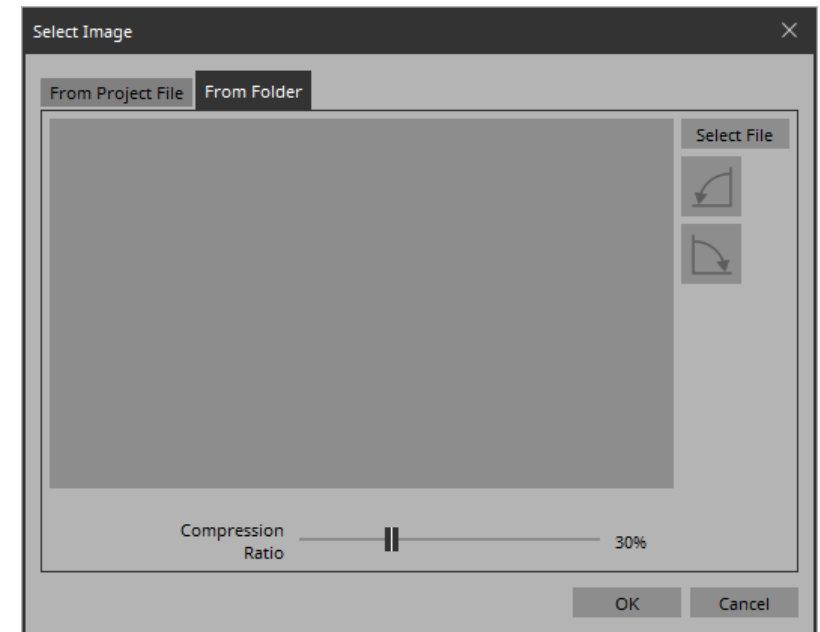


- 22.** [Properties] エリアの「Control」の「Page Name」の右側の欄をクリックする。
ボタンをクリックすると切り替えるページがリスト表示されます。

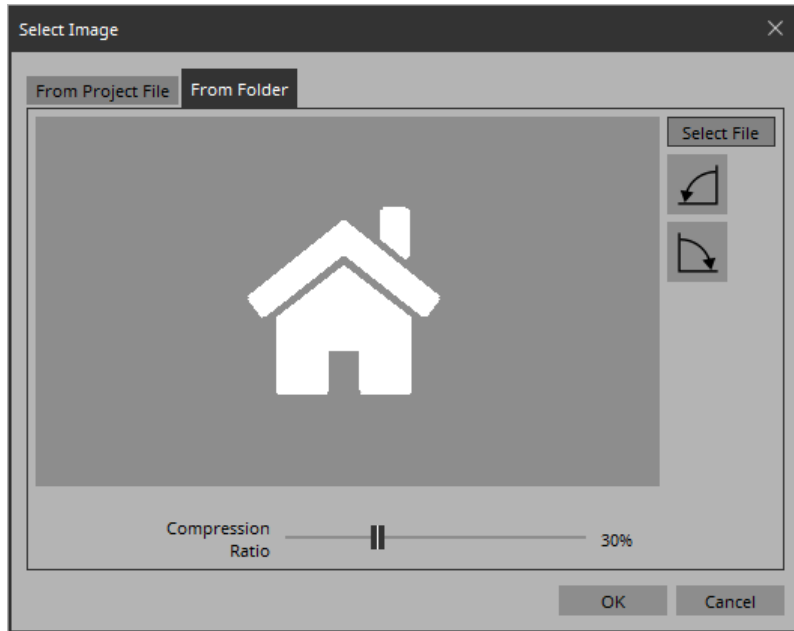
Control	
Page Control Action	Page Jump
Page Name	CL5
Confirmation	CL5
Confirmation Text	Home

- 23.** [Home]を選択する。
コントロールモードのときに、ボタンをクリックすると「Home」に切り変わるようになります。

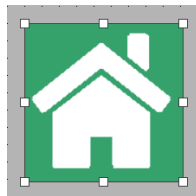
- 24.** [Position/Appearance] の「Image」の右側の□をクリックする。
「Select Image」ダイアログが開きます。



25. [Select File] ボタンをクリックして、コンピューター内の任意の画像ファイルを選択する。
今回は白い家アイコンにします。



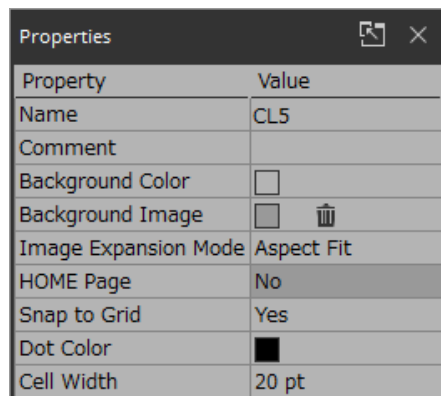
26. [OK] ボタンをクリックする。
ダイアログが閉じ、「Home」ページに移動するためのボタンの中に画像が反映されます。



ページの背景を設定する

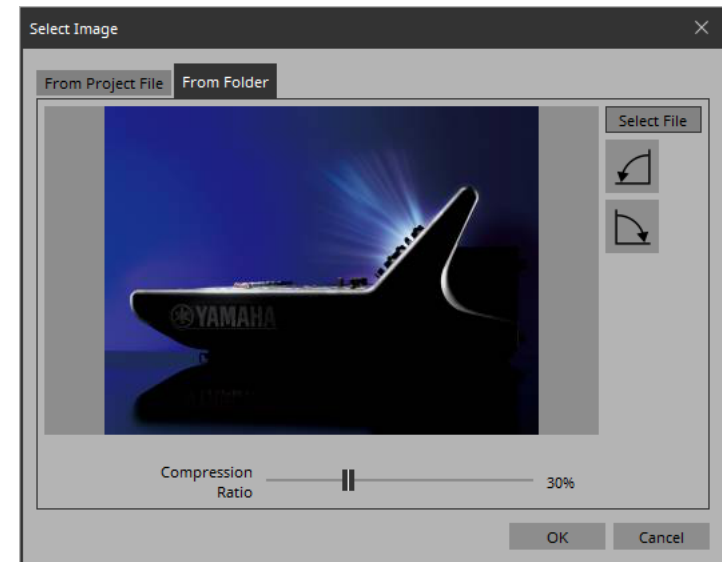
背景を設定する場合、ウィジェットの配置を調整する前に背景を設定した方が早く作業が終わります。

1. ワークエリアのウィジェットがない場所をクリックする。
「Properties」がページの設定になります。



2. 「Background Image」の右側の☐をクリックする。
「Select Image」ダイアログが開きます。
3. 「From Folder」タブをクリックする。

4. 「Select File」ボタンをクリックして、任意の画像を選択する。

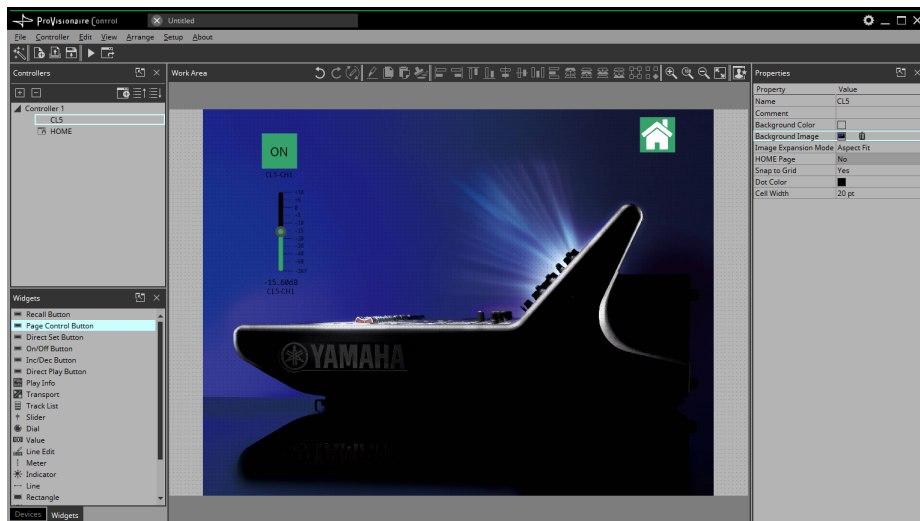


5. 「Select Image」ダイアログで「Compression Ratio」スライダーを使って圧縮率を変える。
この画像データはプロジェクトファイルやコントローラーファイルの中に取り込まれるため、圧縮率が低いほどファイルサイズが大きくなります。
ファイルサイズが大きいとアプリケーション全体の動作に影響を及ぼすため、ある程度圧縮してファイルサイズを小さくすることをおすすめします。
6. 「OK」ボタンをクリックする。

ウィジェットの配置を調整する

配置したウィジェットを俯瞰しながら調整しましょう。

1. メニューバーにある[Fit to Screen]ボタン  をクリックして、ページ全体が見えるようにする。



2. ウィジェットの大きさを整えるために、ウィジェットをクリックして、枠に表示される白い四角をクリック&ドラッグして大きさを調整する。
3. ウィジェットをドラッグ&ドロップして位置を調整する。
4. 必要に応じて「Properties」エリアでラベルの文字サイズなどを調整する。

この作業を各ページで実施してください。

プロジェクトファイルを保存する

ここまで作ったプロジェクトファイルを保存しましょう。

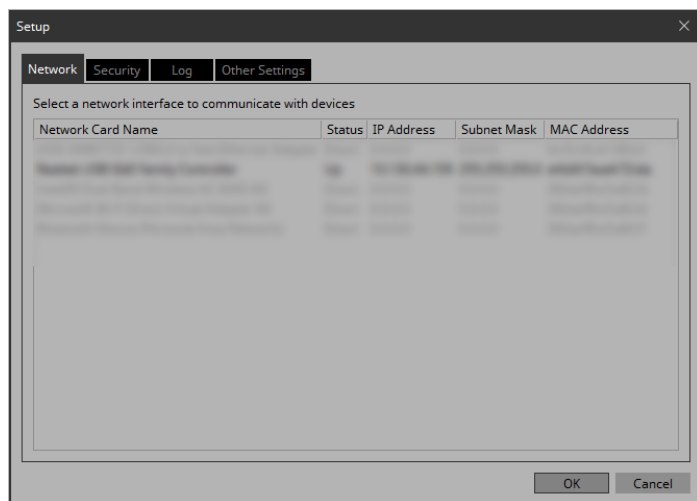
1. メニューバーにある[Save]ボタン  をクリックする。
「Save File」ダイアログが開きます。
保存処理をしたファイルの場合は上書き保存されます。
2. 「Save File」ダイアログが開いた場合、ファイルの保存先を指定し、ファイル名をつけて保存する。

動作を確認する

各ページのウィジェットを操作して、動作を確認しましょう。ここでは対象となる機器があるという想定です。

1. 機器の電源を入れる。
2. コンピューターを機器のNETWORK端子がつながっているネットワークにつなげる。
コンピューター側の設定については [「IPアドレスの設定方法」](#)を参照してください。
3. タイトルバーにある[Setup]ボタン  をクリックする。

「Setup」ダイアログが開きます。



4. 機器のNETWORK端子がつながっているネットワークにつなげたネットワークインターフェースカードを選択する。
 5. [OK]ボタンをクリックする。
ダイアログが閉じます。
 6. 「Controllers」エリアで操作するコントローラーを選択する。
 7. ツールバーにある[Run]ボタン  をクリックする。
KIOSKが起動します。
- NOTE**
- ボタンをクリックして起動したKIOSKは、単体で起動したKIOSKとは[Setup]ボタンがないなどの違いがあります。
8. 右上で「All Devices are ONLINE」と表示されていることを確認する。
「All Devices are OFFLINE」の場合、KIOSKが機器を認識できていません。機器とコンピューターのネットワークの設定が正しいか確認してください。
 9. 「CL5」と名付けたボタンをクリックする。
ページが移動します。
 10. フェーダーやボタンを操作して、機器と連動していることを確認する。
配置等を変更する場合は、KIOSKを終了して、「ウィジェットの配置を調整する」を実施してください。KIOSKが起動したままだと変更が反映されません。
 11. KIOSKを終了する。

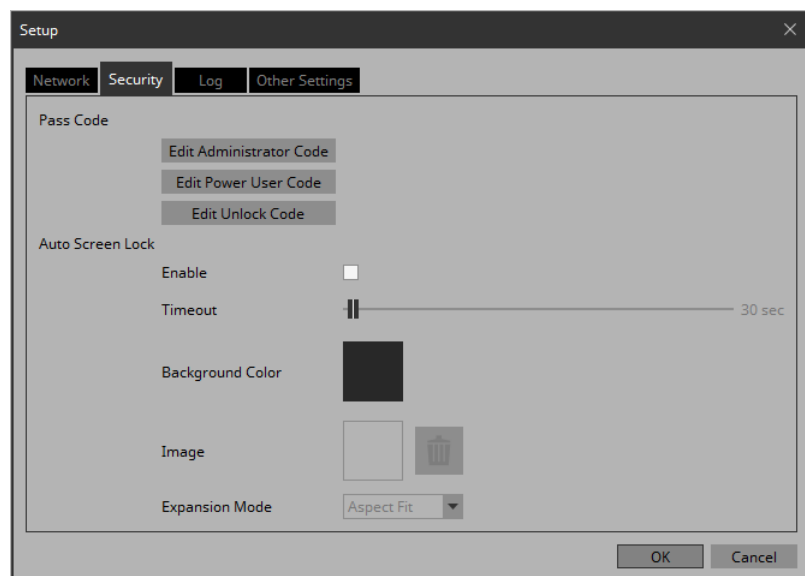
セキュリティを設定する

スクリーンロック解除などに使う各種パスコードやスクリーンロックの設定などをしましょう。

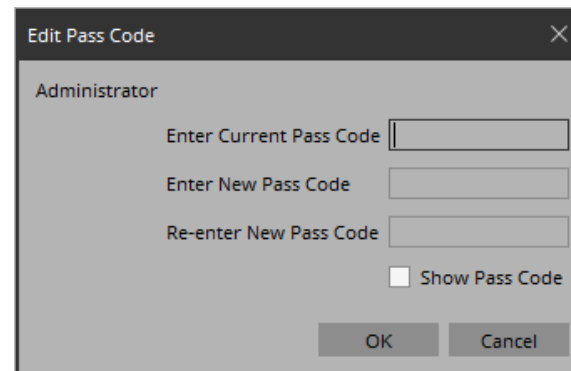
1. タイトルバーにある[Setup]ボタン  をクリックする。

「Setup」ダイアログが開きます。

2. [Security]タブをクリックする。
セキュリティ関連の設定画面に切り替わります。

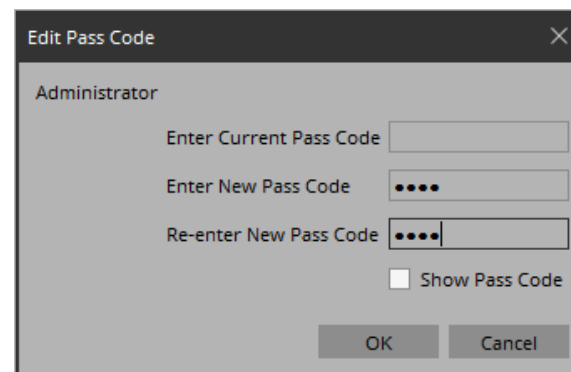


3. [Edit Administrator Code]ボタンをクリックする。
左上に「Administrator」と表示されている「Edit Pass Code」ダイアログが開きます。

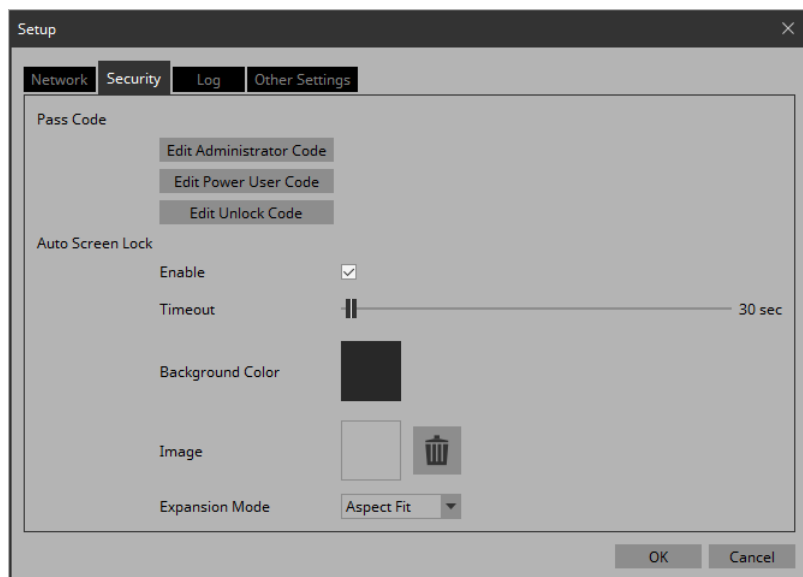


4. [Enter New Pass Code]テキストボックスと[Re-enter New Pass Code]テキストボックスに4桁の同じ数字を入力する。

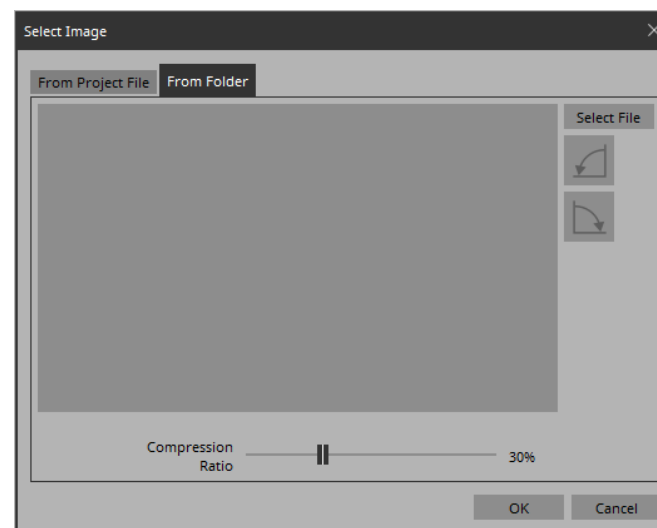
入力した数字が管理者用のパスコードになります。
初期値ではパスコードが設定されていないので、[Enter Current Pass Code]テキストボックスは空の状態にしておいてください。



5. [OK] ボタンをクリックする。
Administrator用のパスコードが確定します。
6. 同様に[Edit Power User Code] ボタンや[Edit Unlock Code] ボタンをクリックして、パワーユーザーやスタッフ用のパスコードを設定する。
スタッフ用のパスコードはパワーユーザーが変更できるので、パワーユーザーにスタッフ用のパスコードを設定してもらうのであれば、設定はしないというやり方もあります。
7. Screen Lockの[Enable]チェックボックスにチェックを入れる。
スクリーンロックの設定ができるようになります。



8. [Timeout] スライダーを操作して、最後に操作してから何秒後にスクリーンロック状態になるか設定する。
9. スクリーンロック状態になったときの表示を設定する。
無地の場合は[Background Color]の色欄をクリックしてください。色の選択画面が表示されます。
画像の場合は[Image]右横の□をクリックしてください。今回は画像を設定しますので、□をクリックします。
10. [From Folder] タブをクリックする。
コンピュータ内の画像ファイルを適用する画面に切り替わります。



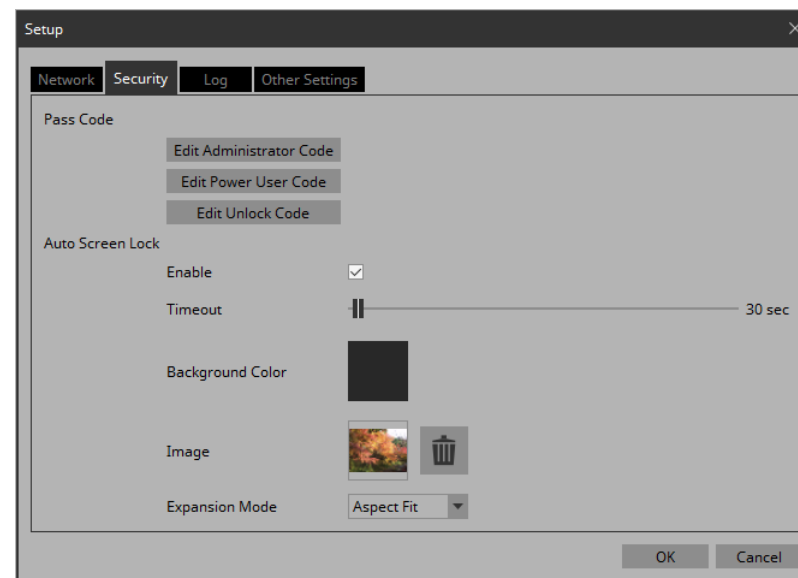
11. [Select File] ボタンを押して、スクリーンロック時に画面に表示する画像ファイルを選択する。

12. 「Select Image」 ダイアログで[Compression Ratio] スライダーを使って圧縮率を変える。

この画像データはプロジェクトファイルやコントローラーファイルの中に取り込まれるため、圧縮率が低いほどファイルサイズが大きくなります。



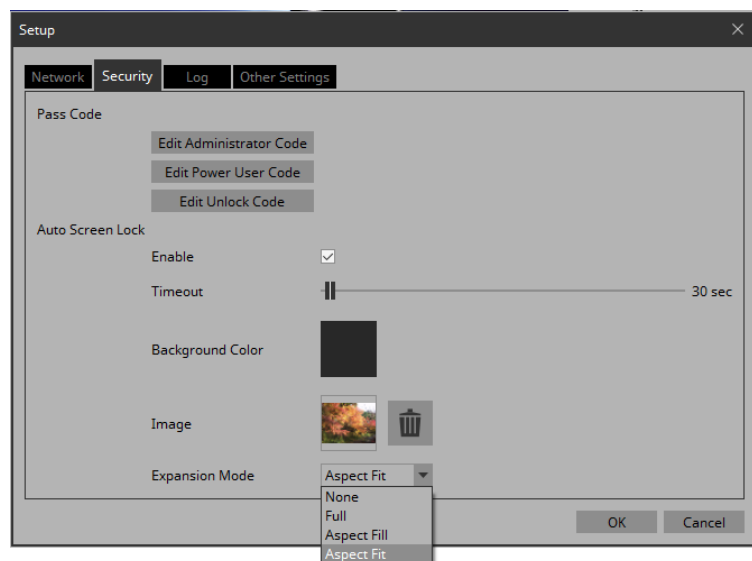
13. [OK] ボタンをクリックする。
ダイアログが閉じて、「Setup」ダイアログに戻ります。



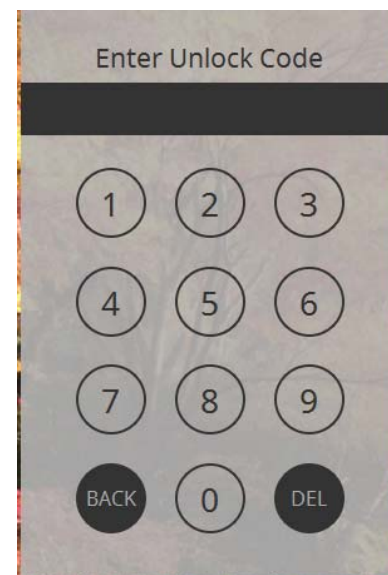
14. [OK] ボタンをクリックする。
ダイアログが閉じます。

15. ツールバーにある[Run] ボタン  をクリックする。
KIOSKが起動します。

- 16.** [Timeout]スライダーで設定した時間操作をしない。
スクリーンロック画面に切り替わります。
画像の見え方を変える場合は、KIOSKを終了して、
「Setup」ダイアログの[Security]タブにある[Expansion
Mode]で見え方の設定を変えてください。



- 17.** スクリーンロック画面をクリックする。
スクリーンロックを解除するための「Enter Unlock
Code」が表示されます。
手順6で「Edit Unlock Code」を設定していなかった場合
は、「Enter Unlock Code」が表示されずに画面に戻りま
す。



- 18.** 手順6で設定したUnlock Codeをクリックして入力す
る。

コントローラーファイルを作る

実際の操作端末にインストールされるKIOSKのために、コントローラーファイルを作りましょう。

ProVisionaire Touch KIOSK用のコントローラーファイルの作り方やiPadへの送信については「[Export Controller File](#)」ダイアログを参照してください。

1. 「Controllers」エリアで、コントローラーファイルを作成するコントローラーを選択する。
2. ツールバーにある[Export]ボタン  をクリックする。
「Export Controller File」ダイアログが開きます。
3. 任意のファイル名をつけて、[保存]をクリックする。
コントローラーファイルが保存されます。

KIOSKを自動起動させる

操作端末のWindowsが起動したときに、自動的にKIOSKが起動して、特定のコントローラーファイル(ypvc)が開くようにしましょう。

ProVisionaire Touch KIOSKでの設定方法については、「ProVisionaire Touchセットアップガイド」を参照してください。セットアップガイドは以下で検索してダウンロードできます。

<https://download.yamaha.com/>

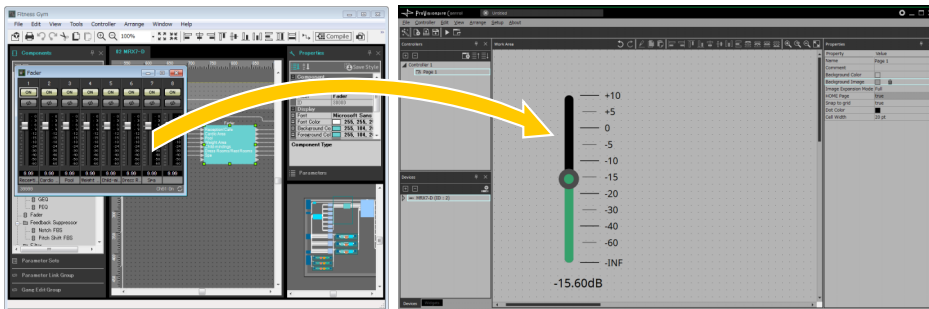
1. 操作端末を起動する。
2. KIOSKをインストールする。
3. 以下フォルダーにコントローラーファイルを置く。
C:¥Users¥xxxx¥AppData¥Roaming¥Microsoft¥Windows¥Start Menu¥Programs¥Startup
xxxxはコンピューターにログインするときのユーザー名です。
フォルダー名は各言語に翻訳されて表示される場合があります。
エクスプローラーでAppDataフォルダーが表示されない場合は、アドレスバーに直接フォルダ名を入力してください。
4. コンピューターを再起動する。
ログインするとKIOSKが起動し、コントローラーファイルが開きます。初回は「Setup」ダイアログが開きますので、コントロール対象の機器と同じネットワークにつなげるインターフェースを選択して、[OK]ボタンをクリックしてください。

以上で一通りの操作は終了です。

MTX/MRXシステムのパラメーターやメーターを追加する

MRXはフリーコンフィグのため、他のモデルのようにパラメーターやメーターをProVisionaire Controlにあらかじめ登録しておくことができません。

MRXのパラメーターやメーターをワークエリアに配置するためには、MRX Designerを起動して、MRX Designerの「Parameters」エリアやコンポーネントエディターからパラメーターやメーターをProVisionaire Controlのワークエリアに<Ctrl>キーを押しながらドラッグ&ドロップすることで配置できます。



同様にMTX-MRX EditorからMRXを除くMTX/MRXシステムのパラメーターやメーターをProVisionaire Controlのワークエリアに<Ctrl>キーを押しながらドラッグ&ドロップすることでパラメーターを配置できます。

NOTE

コントローラーの「Type」が「ProVisionaire Touch Kiosk」の場合、ProVisionaire Touchにないウィジェットを配置しようとすると、似た機能をもつウィジェットに置き換えます。

イニシャルモード特有の機能

イニシャルモードでは今まで開いたことのあるファイルを一覧で表示します。

イニシャルモードでは右上にファイル一覧を操作するメニューを用意しています。

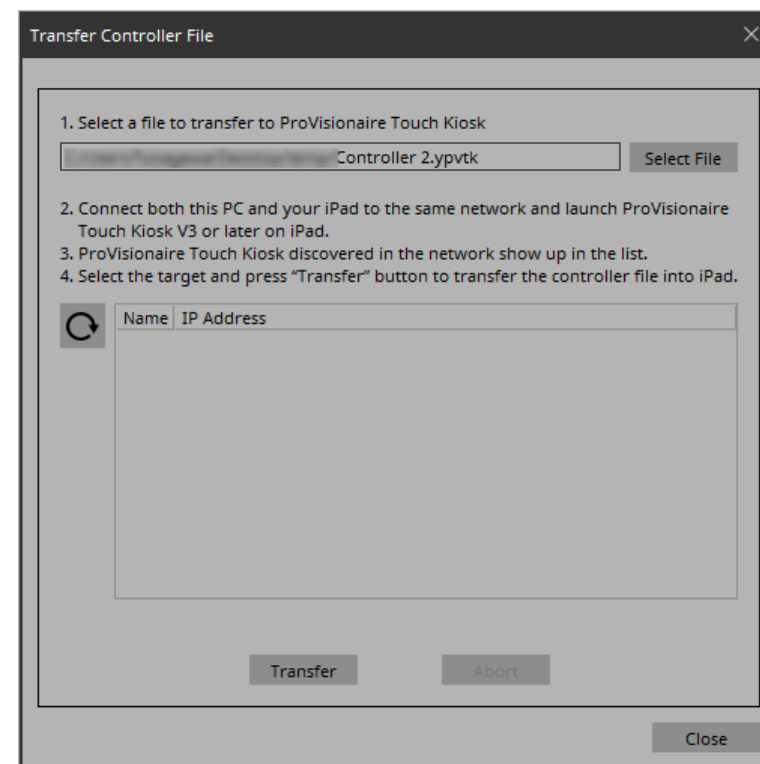
メニュー	概要
[Load]	選択したファイルを開きます。
[Favorite]	ファイルにマーク  をつけます。 もう一回クリックするとマークが消えます。
[Remove from History]	選択したファイルを一覧から削除します。 ファイルそのものは削除されません。

一覧に無いファイルを開く場合は、左上にある[Open Project File]ボタン  をクリックして、ファイルを開くか、ファイルをダブルクリックしてください。

エクスポートしたProVisionaire Touch KIOSK用コントローラーファイルは、KIOSKの[File]メニューの[Transfer Controller File]で呼び出した「Transfer Controller File」ダイアログを使うことで、iPadに送信できます。

■ 「Transfer Controller File」ダイアログ

同じネットワークにあるProVisionaire Touch KIOSKが起動しているiPadにコントローラーファイルを送信します。



• [Select File] ボタン

送信するProVisionaire Touch KIOSK用コントローラーファイルを選択します。

-  (Refresh) ボタン
iPadのリストを更新します。
- [Name]/[IP Address]
KIOSKが起動しているコンピューターと同じネットワークに接続されている、ProVisionaire Touch KIOSKが起動しているiPadの情報を表示します。コントローラーファイルを送信するときは、この欄で送信先を選択してください。
- [Transfer] ボタン
現在選択されているコントローラーファイルを、[Name]/[IP Address]で選択されたiPadにコントローラーファイルを送信します。
- [Abort] ボタン
コントローラーファイルの送信を中断します。
- [Close] ボタン
ダイアログが閉じます。

タイトルバー

現在開いているファイル名を表示したり、画面表示の設定変更などのボタンが配置されています。

• ProVisionaire Control



• KIOSK



① [Close File] ボタン

開いているプロジェクトファイルまたはコントローラーファイルを閉じます。

② ファイル名

開いているファイル名を表示します。

③ [Page List] ボタン

ページを変更するページリストを表示します。

④ [Device Info] ボタン

コントローラーファイルに登録されている機器の情報を表示します。

⑤ オンラインインジケーター All Devices are OFFLINE

コントローラーファイルに登録されている機器がオンラインになっているかどうかを表示します。

アイコン緑：コントローラーファイルに登録されているすべての機器がオンラインになっています。

アイコン黄：コントローラーファイルに登録されている一部の機器がオンラインになっています。

アイコン赤：コントローラーファイルに登録されている機器が発見できているのにオンラインになっていません。

アイコン灰：オンラインの機器がありません。

- ProVisionaire Control



- KIOSK



- ⑥ [Setup] ボタン

ネットワークインターフェースを選択したり、セキュリティ設定をする「Setup」ダイアログを開きます。

- ⑦ [Fullscreen] ボタン

KIOSKの表示をフルスクリーンにします。フルスクリーンを解除するときは、<Esc>キーを押してください。

メニューバー

ProVisionaire Controlで実行できるコマンドが、カテゴリーごとにまとめられています。
イニシャルモードでは一部のコマンドだけが表示されます。

File Controller Edit View Arrange Setup About

[File]

コマンド	概要	呼び出されるダイアログ
[New Project]	新規のプロジェクトファイルを作成します。 プロジェクトファイルを編集中の場合は、確認のメッセージが表示されます。 「New Project Wizard」ダイアログの「Don't show this dialog again when creating new project」チェックボックスにチェックを入れている場合、 「New Project Wizard」ダイアログは表示されず、「Controllers」エリアや「Devices」エリアが空の状態で作成されます。	「New Project Wizard」ダイアログ、または「Setup」ダイアログ
[Open Project File]	既存のプロジェクトファイルを開きます。 プロジェクトファイルを編集中の場合は、確認のメッセージが表示されます。	「Open File」ダイアログ
[Save]	プロジェクトファイルを上書き保存します。 最初に保存するときは「Save File」ダイアログが開きますので、ファイルに名前を付けて保存します。	—
[Save As]	プロジェクトファイルを別のファイルとして保存します。	「Save File」ダイアログ
[Close Project]	プロジェクトファイルを閉じます。 プロジェクトファイルを編集中の場合は、確認のメッセージが表示されます。	イニシャルモード
[Exit]	ProVisionaire Controlを終了します。 プロジェクトファイルを編集中の場合は、確認のメッセージが表示されます。	—

[Controller]

コマンド	概要	呼び出されるダイアログ
[Add]	コントローラーを追加します。追加されたコントローラーにはページが一つ追加されます。	[Add Controller] ダイアログ
[Run]	選択しているコントローラーをコントロールモードで動作させます。コントローラーの[Type]がProVisionaire Touch KIOSKの場合は、「Run Controller File」ダイアログが開きます。コントローラーを送信して、iPad上のProVisionaire Touch KIOSKで動作を確認してください。	[KIOSK]、または [Run Controller File] ダイアログ
[Import]	プロジェクトファイルからコピーしたいコントローラーを選択します。	[Import Controller File] ダイアログ、または [Select Controllers to Import] ダイアログ
[Export]	選択しているコントローラーのコントローラーファイルを作成します。また、ProVisionaire Touch KIOSKがインストールされたiPadにProVisionaire Touch KIOSK用コントローラーファイルを送信します。	[Export Controller File] ダイアログ、または [Transfer Controller File] ダイアログ

[Edit]

コマンド	概要	呼び出されるダイアログ
[Undo]	ウィジェットに関する前の操作を取り消します。いくつかの項目は取り消せません。	—
[Redo]	[Undo]で取り消した操作を再実行します。	—
[Repeat]	ウィジェットのスタイルに関する直前の操作を繰り返します。いくつかの項目は繰り返せません。	—
[Cut]	選択している物をコピーバッファに移動します。	—
[Copy]	選択している物をコピーバッファにコピーします。	—

コマンド	概要	呼び出されるダイアログ
[Paste]	コピーバッファにある物を貼り付けます。	—
[Copy Style]	選択している単一ウィジェットのスタイルをコピーバッファにコピーします。	—
[Paste Style]	選択している単一ウィジェットにコピーバッファにあるスタイルを貼り付けます。	—
[Save as Style]	選択しているウィジェットのスタイルをスタイル(デフォルト設定)としてプロジェクトファイルに登録します。	—
[Apply Style]	選択しているウィジェットにスタイルを適用します。	—
[Duplicate]	選択しているウィジェットを複製します。	—
[Duplicate to Other Channels]	選択している単一ウィジェットを複製し、複製元以外のチャンネルを割り当てます。複製するチャンネルは複数選択できます。	—
[Delete]	選択しているウィジェットを削除します。	—
[Select All]	ページ内にあるすべてのウィジェットを選択します。	—
[Imported Images]	プロジェクトファイル内にある画像データを表示/削除します。	[Imported Images] ダイアログ
[Create Multi Button]	複数のボタンを一括で操作するマルチボタンを作成します。このコマンドを実行する前に対象となるボタンを選択しておいてください。	—
[Create Multi Slider]	マルチスライダーを作成します。このコマンドを実行する前に対象となるスライダーを選択しておいてください。	—

[View]

コマンド	概要	呼び出されるダイアログ
[Devices]	チェックを入れると、該当するエリアが表示されます。	—
[Widgets]		—
[Controllers]		—
[Properties]		—
[Tool Bar]		—
[Dock All]	すべてのエリアのフロート化を解除します。	—

[Arrange]

コマンド	概要	呼び出されるダイアログ
[Align Left]	複数選択しているウィジェットのうち一番左側にあるウィジェットに左端をあわせます。	—
[Align Right]	複数選択しているウィジェットのうち一番右側にあるウィジェットに右端をあわせます。	—
[Align Top]	複数選択しているウィジェットのうち一番上側にあるウィジェットに上端をあわせます。	—
[Align Bottom]	複数選択しているウィジェットのうち一番下側にあるウィジェットに下端をあわせます。	—
[Align Horizontal Center]	複数選択しているウィジェットの水平方向の中間にウィジェットの中央をあわせます。	—
[Align Vertical Center]	複数選択しているウィジェットの垂直方向の中間にウィジェットの中央をあわせます。	—
[Distribute Horizontally]	複数選択しているウィジェットの水平方向を等間隔にします。	—
[Distribute Vertically]	複数選択しているウィジェットの垂直方向を等間隔にします。	—

コマンド	概要	呼び出されるダイアログ
[Bring to Front]	選択しているウィジェットを最前面に移動します。	—
[Bring Forward]	選択しているウィジェットを前面に移動します。	—
[Send Backward]	選択しているウィジェットを背面に移動します。	—
[Send to Back]	選択しているウィジェットを最背面に移動します。	—
[Group]	複数選択しているウィジェットをグループ化します。	—
[Ungroup]	選択しているグループのグループ化を解除します。	—

[Setup]

コマンド	概要	呼び出されるダイアログ
[Network]	機器と通信するためのコンピューターのネットワークインターフェースカードを選択します。	[Setup] ダイアログ
[Security]	セキュリティに関する設定をします。	
[Log]	ProVisionaire Monitoring Serviceに関する設定をします。	
[Others]	ウィジェットのサイズや位置情報の単位を設定します。	
[Style]	プロジェクト内の各ウィジェットのスタイルの確認と変更をします。	[Style] ダイアログ

[About]

コマンド	概要	呼び出されるダイアログ
[About ProVisionaire Control]	ProVisionaire Controlのバージョンなどの詳細情報を表示します。	[About] ダイアログ

ツールバー

[Open Project File]や[Save]などProVisionaire Controlのプロジェクト単位でよく使うコマンドをボタンにしています。

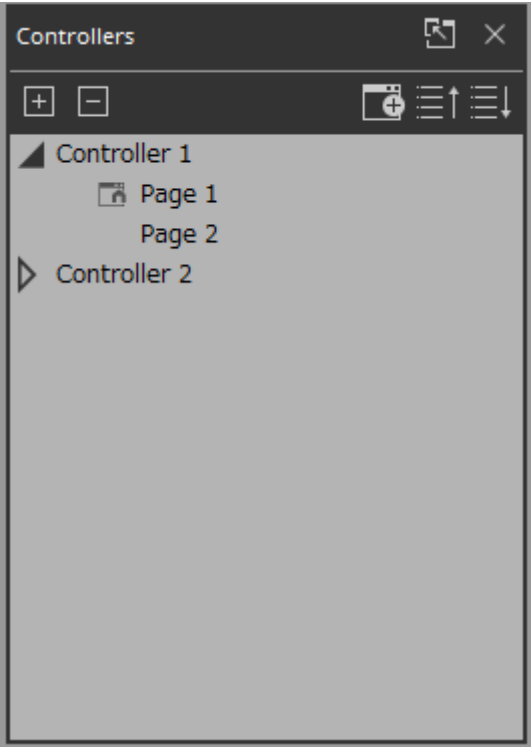
イニシャルモードでは[New Project]ボタンと[Open Project File]の二つが表示されます。

ボタン	コマンド	概要
	[New Project Wizard]	新規のプロジェクトファイルを作成します。プロジェクトファイルを編集集中の場合は、確認のメッセージが表示されます。 「New Project Wizard」ダイアログの「Don't show this dialog again when creating new project」チェックボックスにチェックを入れていても、「New Project Wizard」ダイアログが開きます。
	[New Project]	新規のプロジェクトファイルを作成します。プロジェクトファイルを編集集中の場合は、確認のメッセージが表示されます。 「New Project Wizard」ダイアログの「Don't show this dialog again when creating new project」チェックボックスにチェックを入れている場合、「New Project Wizard」ダイアログは表示されず、「Controllers」エリアや「Devices」エリアが空の状態で作成されます。

ボタン	コマンド	概要
	[Open Project File] / [Open Controller File]	既存のプロジェクトファイルまたはコントローラーファイルを開きます。プロジェクトファイルを編集集中の場合は、確認のメッセージが表示されます。
	[Save]	プロジェクトファイルを上書き保存します。最初に保存するときは「Save File」ダイアログが開きますので、ファイルに名前を付けて保存します。
	[Run]	選択しているコントローラーをコントロールモードで動作させます。コントローラーの「Type」がProVisionaire Touch KIOSKの場合は、「Run Controller File」ダイアログが開きます。コントローラーを送信して、iPad上のProVisionaire Touch KIOSKで動作を確認してください。
	[Export]	選択しているコントローラーのコントローラーファイルを作成します。また、ProVisionaire Touch KIOSKがインストールされたiPadにProVisionaire Touch KIOSK用コントローラーファイルを送信します。

「Controllers」 エリア

プロジェクトのコントローラーとページのリストを表示するエリアです。選択されているページをワークエリアに表示します。



コントローラーの左側にある三角形  をクリックすることで、コントローラー個別にページの展開/折りたたみができます。
ページの左側にある  はそのコントローラーでのホームページであることを意味します。

■ ボタン

「Controllers」 エリアにあるボタンの説明をします。

ボタン	コマンド	概要
	[Expand All]	コントローラーとページを全展開します。
	[Collapse All]	コントローラーとページをすべて折りたたみます。
	[Add]	コントローラーを追加します。追加されたコントローラーにはページが一つ追加されます。
	[Move Page Up]	選択されているページ位置を1つ上に移動させます。
	[Move Page Down]	選択されているページ位置を1つ下に移動させます。

■ コンテキストメニュー

コントローラーやページなどを右クリックすると、コンテキストメニューが表示されます。選択しているアイテムによって表示されないメニューがあります。

メニュー	概要
[Add Page]	選択されているコントローラーにページを追加します。ページが選択されている場合は、そのページを含むコントローラーにページを追加します。
[Duplicate]	選択しているコントローラーまたはページの複製を追加します。 ページが選択されている場合は、そのページを含むコントローラーに複製を追加します。
[Delete]	選択しているコントローラーまたはページを削除します。
[Rename]	選択しているコントローラーまたはページの名称を変更できるようにします。
[Run]	選択しているコントローラーをコントロールモードで動作させます。 コントローラーの[Type]がProVisionaire Touch KIOSKの場合は、「Run Controller File」ダイアログが開きます。コントローラーを送信して、iPad上のProVisionaire Touch KIOSKで動作を確認してください。
[Export]	選択しているコントローラーのコントローラーファイルを作成します。
[Set as HOME]	選択しているページをそのコントローラーのホームページにします。

■ プロパティ

コントローラーやページにフォーカスがある場合に「Properties」エリアに表示されるパラメーターを説明します。コントローラーのタイプによって表示されないパラメーターがあります。

● コントローラー

Property	Value
[Name]	コントローラーの名称です。クリックすると編集できます。
[Type]	「New Project Wizard」ダイアログまたは「Add Controller」ダイアログで設定したタイプです。この項目は変更できないので、間違っている場合は、コントローラーを作り直してください。
[Administrator Comment]	Administratorだけが入力/編集できるコントローラーのコメントです。
[Comment]	コントローラーのコメントです。コントローラー名だけでは説明しきれない内容などを記入してください。
[Display Aspect Ratio]	「New Project Wizard」ダイアログまたは「Add Controller」ダイアログで設定した画面比です。KIOSKがインストールされる施工先のコンピュータの画面比であることを確認できます。この項目は変更できないので、間違っている場合は、コントローラーを作り直してください。

Property	Value
[Display Size]	「New Project Wizard」ダイアログまたは「Add Controller」ダイアログで設定した画面サイズです。クリックするとスピンボックスが表示され、クリック操作または直接入力で編集できます。画面サイズを変えると、既に配置されているウィジェットの大きさは比率を追従させて変化します。
[Open with Full Screen Style]	コントローラーファイルを開くまたはコントロールモードにしたときに、全画面表示で動作させる(Yes)か、ウィンドウとして動作させる(No)か選択します。
[Pass Code Setting]	コントローラーのパスコードを「Setup」ダイアログで設定したコードと一致させる(Use Project Pass Code)か、コントローラー独自のコードを設定する(Use Controller Pass Code)か選択します。 [Use Controller Pass Code]にすると、下の3つのコードが編集可能になります。
[Administrator Code]	パスコードを設定/変更する場合は、「Setup」ダイアログの[Security]タブで実施してください。
[Power User Code]	
[Unlock Code]	

Property	Value
[PV Monitoring Service Setting]	ProVisionaire Monitoring Serviceに関する設定を「Setup」ダイアログで設定したものを使う(Use Project Setting)か、コントローラーのプロパティーで設定したものを使う(Use Controller Setting)かをコントローラーごとに選択します。
[Destination PV Monitoring Service]	[PV Monitoring Service Setting]で[Use Controller Setting]を選択している場合、ProVisionaire Monitoring ServiceがKIOSKと同じコンピューターにインストールされる(This PC)か、別のコンピューターにインストールされる(Other PC)かを選択します。
[Destination PV Monitoring Service IP Address]	[Destination PV Monitoring Service]で[Other PC]を選択している場合、ProVisionaire Monitoring ServiceがインストールされているコンピューターのIPアドレスを設定します。
[Show Widget Selection Border]	コントローラーファイルを開くまたはコントロールモードにしたときに、ウィジェットが選択されている枠を表示する(Yes)か、表示しない(No)か選択します。
[Enable File Operations for Power User]	ファイルを開くときにPower User Codeを入力して開く(Yes)か、Administrator Codeを入力して開く(No)か選択します。

Property	Value
[Enable Menu Auto-Close]	ProVisionaire Touch KIOSKがControl Modeのとき、左上にあるメニューボタンを一定期間経過後自動的に消す(Yes)か、手動で消す(No)かを選択します。
[Time Until Menu Closes]	[Enable Menu Auto-Close]でYesを選択したときに、メニューボタン操作後に自動的に消すまでの時間を設定します。
[Offline indication]	機器のパラメーターがアサインされているウィジェットの右上に、オフライン時にインジケータを表示させる(Yes)か、表示させない(No)かを設定します。
[No Assign Indication]	KIOSKやProVisionaire Touch KIOSKで、機器のパラメーターがアサインされていないウィジェットの右上に、クリップを表示させる(Yes)か、表示させない(No)かを設定します。

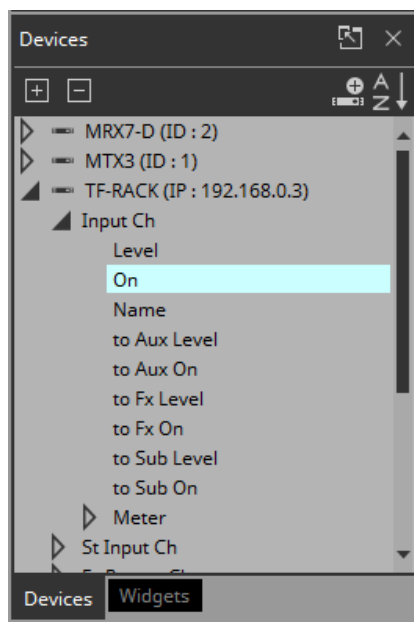
● ページ

Property	Value
[Name]	ページの名称です。クリックすると編集できます。
[Comment]	ページのコメントです。クリックすると「Edit Text」ダイアログが開いて、コメントの編集ができます。

Property	Value
[Back-ground Color]	ページの背景色です。四角をクリックすると、「Select Color」ダイアログが開いて、背景色を選択できます。
[Back-ground Image]	ページの背景画です。四角をクリックすると、「Select Image」ダイアログが開いて、背景色より上に表示する画像データを選択できます。ゴミ箱ボタンをクリックすると背景画の設定を解除します。
[Image Expansion Mode]	背景画の見せ方を設定します。設定については 「Expansion Modeについて」 を参照してください。
[HOME Page]	選択しているページがホームページ(Yes)なのか、ホームページではない(No)なのか表示します。
[Snap to Grid]	グリッドに合わせてウィジェットを配置する(Yes)か、自由に配置する(No)か選択します。
[Dot Color]	グリッドのドットの色です。四角をクリックすると、「Select Color」ダイアログが開いて、ドットの色を選択できます。
[Cell Width]	グリッドの間隔です。クリックするとスピンボックスが表示され、クリック操作または直接入力で編集できます。
[Power User Code Required]	選択しているページに移動するときにパワーユーザーコードによる認証を行う(Yes)か、認証を行わない(No)かを選択します。ホームページでは選択できません。

「Devices」 エリア

プロジェクトに登録されている機器とその機器のパラメーターを表示するエリアです。
パラメーターをワークエリアにドラッグ&ドロップすることでワークエリアにウィジェットを配置します。
入力チャンネルの[On]など複数ある場合は、ドロップしたときにどれを当てはめるか確認するダイアログが表示されます。ダイアログでは<Ctrl>キーや<Shift>キーを使うことで複数選択もできます。



機器やパラメーターの左側にある三角形  をクリックすることで、機器やパラメーターを個別に展開/折りたたみができます。

下にあるタブで「Devices」エリアを表示するか、「Widgets」エリアを表示するか切り替えられます。また  をクリックすることでエリアがフロートして、タブが消えます。

登録されていない機器を検出した場合は、その機器の左側に「?」が表示されます。

■ ボタン

「Devices」エリアにあるボタンの説明をします。

ボタン	コマンド	概要
	[Expand All]	機器とパラメーターを全展開します。
	[Collapse All]	機器とパラメーターをすべて折りたたみます。
	[Add Device]	プロジェクトに機器を追加します。
	[Sort Devices in Ascending Order]	機器の表示順を昇順にします。
	[Sort Devices in Descending Order]	機器の表示順を降順にします。

■ コンテキストメニュー

機器を右クリックすると、コンテキストメニューが表示されます。

メニュー	概要
[Add]	プロジェクトに登録されていない機器を検出した場合、該当機器に登録します。
[Delete]	機器を削除します。

■ プロパティ

機器やパラメーターにフォーカスがある場合に「Properties」エリアに表示されるパラメーターを説明します。

Property	Value
[Model]	機器のモデル名を表示します。
[Identifier]	機器のUNIT IDやIPアドレスを表示します。クリックすると「Edit Device Identifier」ダイアログが開いて、UNIT IDやIPアドレスを編集できます。対象機器のウィジェットが既に配置されている場合、変更に合わせてウィジェットのUNIT IDやIPアドレスが変わります。
[Device Name]	機器の名称です。クリックすると編集できます。

「Widgets」 エリア

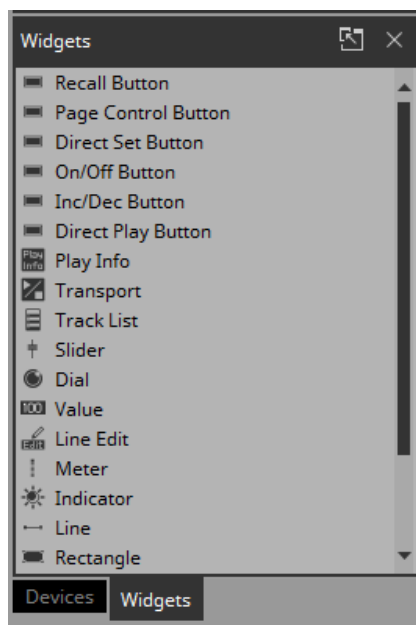
ワークエリアに配置できるウィジェットを表示するエリアです。ウィジェットをワークエリアにドラッグ&ドロップすることでワークエリアにウィジェットを配置します。

On/Offボタンやスライダーなどはパラメーターをドラッグ&ドロップでウィジェットが配置できますが、Page ControlボタンやRectangleなどはこのエリアからドラッグ&ドロップしてください。

ワークエリアに配置されたウィジェットには、パラメーターをドラッグ&ドロップすることでパラメーターを設定できます。同様の操作で上書きもできます。

各ウィジェットの詳細については「[ウィジェット](#)」の章を参照してください。

このエリアではボタンやコンテキストメニュー、プロパティに関する項目はありません。



ワークエリア

現在選択しているページが表示されます。
このエリアにパラメーターやウィジェットを (MRX DesignerやMTX-MRX Editorからの場合は<Ctrl>キーを押しながら)ドラッグ&ドロップしてウィジェットを配置します。



既に配置されているウィジェットにパラメーターを (MRX DesignerやMTX-MRX Editorからの場合は<Ctrl>キーを押しながら)ドラッグ&ドロップすると、ウィジェットのパラメーターが上書きされます。

ワークエリアのウィジェット以外の部分をクリックすると、「Properties」エリアにページのプロパティーが表示されます。

■ ボタン

ワークエリアの上部にはワークエリア操作でよく使うコマンドをボタンにしています。

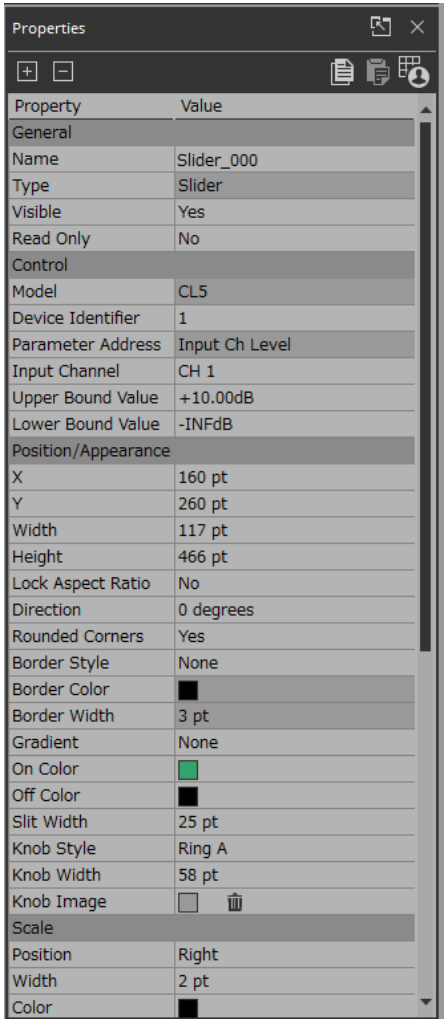
ボタン	コマンド	概要
	[Undo]	ウィジェットに関する前の操作を取り消します。いくつかの項目は取り消せません。
	[Redo]	[Undo]で取り消した操作を再実行します。
	[Repeat]	直前に実施されたStyleに関する変更を選択したウィジェットに適用させます。
	[Cut]	選択されている物をコピーバッファーに移動します。
	[Copy]	選択されている物をコピーバッファーにコピーします。
	[Paste]	コピーバッファーにある物を貼り付けます。

ボタン	コマンド	概要
	[Duplicate to Other Channels]	選択している単一ウィジェットのまだ設定されていない他のチャンネルを選択して複製します。複製するチャンネルは複数選択できます。
	[Align Left]	複数選択しているウィジェットのうち一番左側にあるウィジェットに左端をあわせます。
	[Align Right]	複数選択しているウィジェットのうち一番右側にあるウィジェットに右端をあわせます。
	[Align Top]	複数選択しているウィジェットのうち一番上側にあるウィジェットに上端をあわせます。
	[Align Bottom]	複数選択しているウィジェットのうち一番下側にあるウィジェットに下端をあわせます。
	[Align Horizontal Center]	複数選択しているウィジェットの水平方向の中間にウィジェットの中央をあわせます。
	[Align Vertical Center]	複数選択しているウィジェットの垂直方向の中間にウィジェットの中央をあわせます。
	[Distribute Horizontally]	複数選択しているウィジェットの水平方向を等間隔にします。
	[Distribute Vertically]	複数選択しているウィジェットの垂直方向を等間隔にします。

ボタン	コマンド	概要
	[Bring to Front]	選択しているウィジェットを最前面に移動します。
	[Bring Forward]	選択しているウィジェットを前面に移動します。
	[Send Backward]	選択しているウィジェットを背面に移動します。
	[Send to Back]	選択しているウィジェットを最背面に移動します。
	[Group]	複数選択しているウィジェットをグループ化します。
	[Ungroup]	グループ化されているウィジェットのグループ化を解除します。
	[Zoom In]	ワークエリアの表示を拡大します。
	[Zoom Origin]	ワークエリアの表示を100%にします。
	[Zoom Out]	ワークエリアの表示を縮小します。
	[Fit to Screen]	ワークエリアにページ全体を表示します。
	[Open Style]	[Style] ダイアログを開きます。

「Properties」 エリア

ページやウィジェットなどのプロパティを表示します。
「Value」 欄に網掛けのない部分に関しては編集できます。
個別の項目を展開または折りたたむ場合は、プロパティの
全般部分をダブルクリックしてください。



■ ボタン

「Properties」 エリアの上部にはプロパティ操作でよく使
うコマンドをボタンにしています。

ボタン	コマンド	概要
	[Expand All]	プロパティの項目を全展開しま す。
	[Collapse All]	プロパティの項目をすべて折り たたみます。
	[Copy Style]	選択されているウィジェットのス タイルをコピーバッファにコ ピーします。
	[Paste Style]	選択されているウィジェットにコ ピーバッファにあるスタイルを 貼り付けます。
	[Save as Style]	選択されているウィジェットのス タイルをスタイルとして登録しま す。

ウィジェット

ここでは各ウィジェットをカテゴリー別に説明します。
テキストを設定しようとするとき「Edit Text」ダイアログが表示されます。
色を設定しようとするとき「Select Color」ダイアログが表示されます。
画像を設定しようとするとき「Select Image」ダイアログが表示されます。
[Image]系のValue欄にあるゴミ箱ボタンをクリックすると、該当イメージの表示を解除しますが、プロジェクトファイル内には残っています。ファイル内から削除する場合は、「Imported Images」ダイアログを使って削除してください。
[Control]系と[Image](On Imageなども含む)はUndo/Redoの対象外です。

■ ボタン

ボタンのウィジェットとして以下の物があります。

ウィジェット名	概要
[Recall Button]	シーンやプリセットのリコールに使用します。
[Page Control Button]	他のページに移行するために使用します。
[Direct Set Button]	パラメーターをある固定値にします。
[On/Off Button]	オン/オフを切り替えます。
[Inc/Dec Button]	パラメーターの値を増減させます。

ウィジェット名	概要
[Direct Play Button]	MTXやMRXのSDメモリー内のコンテンツの再生や停止をさせるために使用します。

[Recall Button]、[Direct Set Button]や[On/Off Button]には複数機器のパラメーターや同一機器の複数パラメーターを割り当てることができます(最大16パラメーター)。複数パラメーターを割り当てられたボタンをマルチボタンと呼びます。すでにパラメーターが割り当てられているボタンにパラメーターをドラッグ&ドロップすると、置き換える(Replace)か、追加する(Add)か、取り消す(Cancel)かの確認ダイアログが表示されます。
割り当てられたパラメーターは「Properties」エリアの[Control]欄に表示される[...]ボタンで表示される「Target Editor」ダイアログで確認/変更ができます。
ProVisionaire Touch KIOSK用のコントローラーでは設定できません。

● ボタンのプロパティー

ボタンが選択された場合に「Properties」エリアに表示されるパラメーターを説明します。ボタンや設定によって表示されないパラメーターもあります。

Value欄が濃い網掛けの部分は編集できません。

Propertyに*がある項目はスタイルに関する情報です。

Property	Value
[General]	ウィジェット全般
[Name]	ウィジェットの名称です。ウィジェットを先に配置して、あとでパラメーターをアサインする場合にどれをアサインするつもりなのか記入しておくことなどができます。
[Type]	ウィジェットの種類です。
[Visible]	コントロールモードのときにウィジェットを表示するかしないかを選択します。
[Read Only]	操作できるかできないかを選択します。 [Yes]を選択するとインジケータのように機能します。
[Control]	制御対象に関する情報全般
[Model]	機器のモデル名です。
[Device Identifier]	機器の識別子です。UNIT IDまたはIPアドレスが表示されます。
[Parameter Address]	ウィジェットに設定されたパラメーター名です。

Property	Value
[Input Channel] など	パラメーターのチャンネル番号などです。 アサインされたパラメーターによって名称が変わります。
[Confirmation]	クリックしたときに確認画面を表示するかどうかを選択します。
[Confirmation Text]	[Confirmation]を[Yes]に設定したとき、表示する確認画面のメッセージです。
[On Value]	オンにしたときの値です。
[Off Value]	オフにしたときの値です。
[Switching Mode]	ボタンをラッチ型にするかアンラッチ型にするか選択します。
[Page Control Action]	クリックしたときのアクションを選択します。
[Page Name]	クリックしたときに移動するページ名です。
[Press Value]	クリックしたときに設定する値を設定します。
[Indicator Mode]	ボタンの色の変更条件を選択します。 [Press]では常に[On Color]の色となり、 [Stateful]では[Press Value]の値と一致しているときに[On Color]になります。
[Preset No]/ [Scene No]/ [Scene A No]/ [Scene B No]	リコールするシーンやプリセット、スナップショットの番号を選択します。

Property	Value
[Inc/Dec Step]	クリックするたびに値をいくつ増減させるかステップ単位で設定します。マイナス値にすると値が減ります。
[Repeat]	長押しで連続増加/連続減少をさせるかさせないかを選択します。[Yes]を選択すると連続増加/連続減少ができるようになります。
[Rotation]	値が最大値/最小値に達したときにクリックすると、値を最小値/最大値にするかを選択します。[Yes]を選択すると値を最大値から最小値または最小値から最大値に変更します。  注意 音量系のパラメーター (Level など) を割り当てて Yes に設定すると、最少値から最大値に変化したときに、音量が突然大きくなり、爆音の原因になることがあります。
[Upper Bound Value]	最大値を設定します。
[Lower Bound Value]	最小値を設定します。
[Action]	クリックしたときに再生する (Play) か、一時停止する (Pause) かを選択します。
[Play Target]	1 曲再生する (Play 1 Song) か、フォルダー内の曲を再生する (Play Folder) かを選択します。

Property	Value
[Play Mode]	フォルダー内の曲を再生する場合、指定した曲またはフォルダー内の曲を 1 回再生する (Normal) か、指定した曲またはフォルダー内の曲を繰り返し再生する (Repeat) か、指定したフォルダー内の曲をランダムに繰り返し再生する (Shuffle Repeat) かを選択します。
[Go to the top when playback stops]	曲の再生を止めたときに、先頭位置に戻る (Yes) か、停止位置で待機する (No) かを選択します。 [Yes] にすると、次に再生を始めたときに曲の先頭またはフォルダー内の先頭の曲から再生します。 [No] にすると、次に再生を始めたときに前回の停止位置から再生します。
[Interval Time]	曲間の時間を設定します。
[SD CARD:/]	MTX や MRX の SD カードに入っている曲のファイルまたは曲が入っているフォルダーを設定します。
[Position/Appearance]	ウィジェットの見え方全般
[X]	画面の左上からウィジェットの左上までの横方向の距離を設定します。
[Y]	画面の左上からウィジェットの左上までの縦方向の距離を設定します。
[Width]	ウィジェットの幅を設定します。
[Height]	ウィジェットの高さを設定します。

Property	Value
[Lock Aspect Ratio]*	ウィジェットの縦横比を固定するかどうかを選択します。
[Shape]*	ウィジェットの形状を選択します。
[Corner]*	ウィジェットの角の丸みを設定します。
[Border Style]*	ウィジェットの縁取りの種類を選択します。
[Border Color]*	ウィジェットの縁取りの色を設定します。
[Border Width]*	ウィジェットの縁取りの幅を設定します。
[Gradient]*	ウィジェット内部のグラデーションの種類を選択します。
[Color]*	ウィジェット内部の色を設定します。
[Image]*	ウィジェット内部の画像を設定します。
[Image Expansion Mode]*	ウィジェット内部の画像の見え方を選択します。
[On Color]*	ステータスがオンの時のウィジェット内部の色を設定します。
[On Image]*	ステータスがオンの時のウィジェット内部の画像を設定します。
[On Image Expansion Mode]*	ステータスがオンの時のウィジェット内部の画像の見え方を設定します。
[Off Color]*	ステータスがオフの時のウィジェット内部の色を設定します。

Property	Value
[Off Image]*	ステータスがオフの時のウィジェット内部の画像を設定します。
[Off Image Expansion Mode]*	ステータスがオフの時のウィジェット内部の画像の見え方を設定します。
[Effect]*	ウィジェット外部の影の付け方を設定します。
[Text]	ウィジェット内のテキスト全般
[Visible]*	ウィジェット内部のテキストを表示するかどうかを選択します。
[Text]	ウィジェット内部のテキストを設定します。
[Color]*	ウィジェット内部のテキストの色を設定します。
[Font]*	ウィジェット内部のテキストのフォントを設定します。
[Vertical Alignment]*	ウィジェット内部のテキストの垂直位置を選択します。
[Horizontal Alignment]*	ウィジェット内部のテキストの水平位置を選択します。
[On Visible]*	ステータスがオンの時のウィジェット内部のテキストを表示するかどうかを選択します。
[On Text]	ステータスがオンの時のウィジェット内部のテキストを設定します。

Property		Value
	[On Color]*	ステータスがオンの時のウィジェット内部のテキストの色を設定します。
	[Off Visible]*	ステータスがオフの時のウィジェット内部のテキストを表示するかどうかを選択します。
	[Off Text]	ステータスがオフの時のウィジェット内部のテキストを設定します。
	[Off Color]*	ステータスがオフの時のウィジェット内部のテキストの色を設定します。
	[Direction]*	ウィジェット内部のテキストの向きを設定します。
[Label]		ウィジェットのラベル全般
	[Visible]*	ラベルを表示するかどうか選択します。
	[Text]	ラベルを設定します。
	[Font Color]*	ラベルの色を設定します。
	[Font]*	ラベルのフォントを設定します。
	[Position]*	ラベルの場所を選択します。
	[Alignment]*	ラベルの位置を選択します。
	[Margin]*	ラベルをウィジェットからどれだけ離すかを設定します。

■ スライダー

スライダーのウィジェットは1種類のみです。

● スライダーのプロパティー

スライダーにフォーカスがある場合に「Properties」エリアに表示されるパラメーターを説明します。設定によって表示されないパラメーターもあります。

Value欄が濃い網掛けの部分は編集できません。

Propertyに*がある項目はスタイルに関する情報です。

[Slider]には複数機器のパラメーターや同一機器の複数パラメーターを割り当てることができます(最大16パラメーター)。複数パラメーターを割り当てられたスライダーをマルチスライダーと呼びます。すでにパラメーターが割り当てられているスライダーにパラメーターをドラッグ&ドロップすると、置き換える(Replace)か、追加する(Add)か、取り消す(Cancel)かの確認ダイアログが表示されます。

割り当てられたパラメーターは「Properties」エリアの[Control]欄に表示される[...]ボタンで表示される「Target Editor」ダイアログで確認/変更ができます。

ProVisionaire Touch KIOSK用のコントローラーでは設定できません。

Property	Value
[General]	ウィジェット全般
[Name]	ウィジェットの名称です。ウィジェットを先に配置して、あとでパラメーターをアサインする場合にどれをアサインするつもりなのか記入しておくことができます。
[Type]	ウィジェットの種類です。
[Visible]	コントロールモードのときにウィジェットを表示するかしないかを選択します。
[Read Only]	操作できるかできないかを選択します。 [Yes]を選択するとインジケーターのように機能します。
[Control]	制御対象に関する情報全般
[Model]	機器のモデル名です。
[Device Identifier]	機器の識別子です。UNIT IDまたはIPアドレスが表示されます。
[Parameter Address]	ウィジェットに設定されたパラメーター名です。
[Input Channel] など	パラメーターのチャンネル番号などです。アサインされたパラメーターによって名称が変わります。
[Upper Bound Value]	最大値を設定します。
[Lower Bound Value]	最小値を設定します。

Property	Value
[Position/Appearance]	ウィジェットの見え方全般
[X]	画面の左上からウィジェットの左上までの横方向の距離を設定します。
[Y]	画面の左上からウィジェットの左上までの縦方向の距離を設定します。
[Width]	ウィジェットの幅を設定します。
[Height]	ウィジェットの丈を設定します。
[Lock Aspect Ratio]*	ウィジェットの縦横比を固定するかどうかを選択します。
[Direction]*	ウィジェットの向きを選択します。
[Rounded Corners]*	スリットの角を丸めるかどうか選択します。
[Border Style]*	スリットに縁取りするかどうか選択します。
[Border Color]*	スリットの縁取りの色を設定します。
[Border Width]*	スリットの縁取りの幅を設定します。

Property	Value
[Gradient]*	スリット内部のグラデーションの種類を選択します。
[On Color]*	現在値以下のスリット内部の色を設定します。
[Off Color]*	現在値より上のスリット内部の色を設定します。
[Slit Width]*	スリットの幅を設定します。
[Knob Style]*	ノブの形状を選択します。
[Knob Width]*	ノブの幅を設定します。
[Knob Image]*	ノブの画像を設定します。
[Scale]	目盛り全般
[Position]*	目盛りの位置を選択します。
[Width]*	目盛りの太さを設定します。
[Color]*	目盛りの色を設定します。
[Value Visible]*	目盛りに数字を表示するかどうかを選択します。
[Font]*	目盛りの数字のフォントを選択します。
[Font Color]*	目盛りの数字の色を選択します。

Property	Value
[Label]	ウィジェットのラベル全般
[Visible]*	ラベルを表示するかどうか選択します。
[Text]	ラベルを設定します。
[Font Color]*	ラベルの色を設定します。
[Font]*	ラベルのフォントを設定します。
[Position]*	ラベルの場所を選択します。
[Alignment]*	ラベルの位置を選択します。
[Margin]*	ラベルをウィジェットからどれだけ離すかを設定します。
[Value Label]	ウィジェットの現在値表示全般
[Visible]*	現在値を表示するかどうか選択します。
[Font Color]*	現在値の色を設定します。
[Font]*	現在値のフォントを設定します。
[Position]*	現在値の場所を選択します。
[Alignment]*	現在値の位置を選択します。
[Margin]*	現在値をウィジェットからどれだけ離すかを設定します。

■ ダイアル

ダイアルのウィジェットは1種類のみです。

● ダイアルのプロパティ

ダイアルにフォーカスがある場合に「Properties」エリアに表示されるパラメーターを説明します。設定によって表示されないパラメーターもあります。

Value欄が濃い網掛けの部分は編集できません。

Propertyに*がある項目はスタイルに関する情報です。

Property	Value
[General]	ウィジェット全般
[Name]	ウィジェットの名称です。ウィジェットを先に配置して、あとでパラメーターをアサインする場合にどれをアサインするつもりなのか記入しておくことなどができます。
[Type]	ウィジェットの種類です。
[Visible]	コントロールモードのときにウィジェットを表示するかしないかを選択します。
[Read Only]	操作できるかできないかを選択します。[Yes]を選択するとインジケータのように機能します。

Property	Value
[Control]	制御対象に関する情報全般
[Model]	機器のモデル名です。
[Device Identifier]	機器の識別子です。UNIT IDまたはIPアドレスが表示されます。
[Parameter Address]	ウィジェットに設定されたパラメーター名です。
[Input Channel] など	パラメーターのチャンネル番号などです。アサインされたパラメーターによって名称が変わります。
[Upper Bound Value]	最大値を設定します。
[Lower Bound Value]	最小値を設定します。
[Band Base Value]	ウィジェットを配置したときに設定する初期値を設定します。
[Position/Appearance]	ウィジェットの見え方全般
[X]	画面の左上からウィジェットの左上までの横方向の距離を設定します。
[Y]	画面の左上からウィジェットの左上までの縦方向の距離を設定します。

Property	Value
[Width]	ウィジェットの幅を設定します。
[Height]	ウィジェットの丈を設定します。
[Border Style]*	ウィジェットに縁取りするかどうか選択します。
[Border Color]*	ウィジェットの縁取りの色を設定します。
[Border Width]*	ウィジェットの縁取りの幅を設定します。
[Dial Type]*	ダイアルの形状を選択します。
[Start Angle]*	値の開始位置をどこにするのか設定します。
[End Angle]*	値の終了位置をどこにするのか設定します。
[Gradient]*	ノブ内部のグラデーションの種類を選択します。
[Knob Color]*	ノブ内部の色を設定します。
[Grip Shape]*	グリップの形状を選択します。
[Grip Size]*	グリップの大きさを設定します。
[Grip Color]*	グリップの色を設定します。
[Band On Color]*	現在値以下のバンド内部の色を設定します。
[Band Off Color]*	現在値より上のバンド内部の色を設定します。

Property	Value
[Label]	ウィジェットのラベル全般
[Visible]*	ラベルを表示するかどうか選択します。
[Text]	ラベルを設定します。
[Font Color]*	ラベルの色を設定します。
[Font]*	ラベルのフォントを設定します。
[Position]*	ラベルの場所を選択します。
[Alignment]*	ラベルの位置を選択します。
[Margin]*	ラベルをウィジェットからどれだけ離すかを設定します。
[Value Label]	ウィジェットの現在値表示全般
[Visible]*	現在値を表示するかどうか選択します。
[Font Color]*	現在値の色を設定します。
[Font]*	現在値のフォントを設定します。
[Position]*	現在値の場所を選択します。
[Alignment]*	現在値の位置を選択します。
[Margin]*	現在値をウィジェットからどれだけ離すかを設定します。

■ メーター

メーターのウィジェットは1種類のみです。

● メーターのプロパティ

メーターにフォーカスがある場合に「Properties」エリアに表示されるパラメーターを説明します。設定によって表示されないパラメーターもあります。

Value欄が濃い網掛けの部分は編集できません。

Propertyに*がある項目はスタイルに関する情報です。

Property	Value
[General]	ウィジェット全般
[Name]	ウィジェットの名称です。ウィジェットを先に配置して、あとでパラメーターをアサインする場合にどれをアサインするつもりなのか記入しておくことなどができます。
[Type]	ウィジェットの種類です。
[Visible]	コントロールモードのときにウィジェットを表示するかしないかを選択します。
[Control]	制御対象に関する情報全般
[Model]	機器のモデル名です。
[Device Identifier]	機器の識別子です。UNIT IDまたはIPアドレスが表示されます。
[Parameter Address]	ウィジェットに設定されたパラメーター名です。

Property	Value
[Input Channel] など	パラメーターのチャンネル番号などです。アサインされたパラメーターによって名称が変わります。
[Meter Type]	メーターの表示方法を選択します。
[Bar Base Point]	バーの塗りつぶし開始位置を選択します。
[Position/Appearance]	ウィジェットの見え方全般
[X]	画面の左上からウィジェットの左上までの横方向の距離を設定します。
[Y]	画面の左上からウィジェットの左上までの縦方向の距離を設定します。
[Width]	ウィジェットの幅を設定します。
[Height]	ウィジェットの丈を設定します。
[Lock Aspect Ratio]*	ウィジェットの縦横比を固定するかどうかを選択します。
[Direction]*	ウィジェットの向きを選択します。
[Rounded Corners]*	バーの角を丸めるかどうか選択します。
[Border Style]*	バーに縁取りするかどうか選択します。
[Border Color]*	バーの縁取りの色を設定します。
[Border Width]*	バーの縁取りの幅を設定します。

Property		Value
	[Gradient]*	バー内部のグラデーションの種類を選択します。
	[Color Style]*	バー内部の色のパターンを選択します。
	[On Color]*	現在値以下のバー内部の色を設定します。 [Meter Type]が[Bar]の場合は、現在値の色となります。
	[Off Color]*	現在値より上のバー内部の色を設定します。 [Meter Type]が[Bar]の場合は、現在値以外の色となります。
	[Bar Width]*	バーの幅を設定します。
	[Scale]	目盛り全般
	[Position]*	目盛りの位置を選択します。
	[Width]*	目盛りの太さを設定します。
	[Color]*	目盛りの色を設定します。
	[Value Visible]*	目盛りに数字を表示するかどうかを選択します。
	[Font]*	目盛りの数字のフォントを選択します。
	[Font Color]*	目盛りの数字の色を選択します。

Property		Value
	[Label]	ウィジェットのラベル全般
	[Visible]*	ラベルを表示するかどうかを選択します。
	[Text]	ラベルを設定します。
	[Font Color]*	ラベルの色を設定します。
	[Font]*	ラベルのフォントを設定します。
	[Position]*	ラベルの場所を選択します。
	[Alignment]*	ラベルの位置を選択します。
	[Margin]*	ラベルをウィジェットからどれだけ離すかを設定します。

■ インジケータ

インジケータのウィジェットは1種類のみです。

● インジケータのプロパティ

インジケータにフォーカスがある場合に「Properties」エリアに表示されるパラメータを説明します。設定によって表示されないパラメータもあります。

Value欄が濃い網掛けの部分は編集できません。

Propertyに*がある項目はスタイルに関する情報です。

Property	Value
[General]	ウィジェット全般
[Name]	ウィジェットの名称です。ウィジェットを先に配置して、あとでパラメータをアサインする場合にどれをアサインするつもりなのか記入しておくことなどができます。
[Type]	ウィジェットの種類です。
[Visible]	コントロールモードのときにウィジェットを表示するかしないかを選択します。
[Control]	制御対象に関する情報全般
[Model]	機器のモデル名です。
[Device Identifier]	機器の識別子です。UNIT IDまたはIPアドレスが表示されます。

Property	Value
[Parameter Address]	ウィジェットに設定されたパラメータ名です。
[Indication Threshold]	オン/オフを切り替えるしきい値です。しきい値以上になるとオンになり、しきい値未満になるとオフになります。
[Analog Input Port] など	パラメータのチャンネル番号などです。アサインされたパラメータによって名称が変わります。
[Position/Appearance]	ウィジェットの見え方全般
[X]	画面の左上からウィジェットの左上までの横方向の距離を設定します。
[Y]	画面の左上からウィジェットの左上までの縦方向の距離を設定します。
[Width]	ウィジェットの幅を設定します。
[Height]	ウィジェットの高さを設定します。
[Lock Aspect Ratio]*	ウィジェットの縦横比を固定するかどうかを選択します。
[Shape]*	ウィジェットの形状を選択します。
[Corner]*	ウィジェットの角の丸みを設定します。
[Border Style]*	ウィジェットの縁取りの種類を選択します。
[Border Color]*	ウィジェットの縁取りの色を設定します。

Property	Value
[Border Width]*	ウィジェットの縁取りの幅を設定します。
[Gradient]*	ウィジェット内部のグラデーションの種類を選択します。
[On Color]*	ステータスがオンの時のウィジェット内部の色を設定します。
[On Image]*	ステータスがオンの時のウィジェット内部の画像を設定します。
[On Image Expansion Mode]*	ステータスがオンの時のウィジェット内部の画像の見え方を設定します。
[Off Color]*	ステータスがオフの時のウィジェット内部の色を設定します。
[Off Image]*	ステータスがオフの時のウィジェット内部の画像を設定します。
[Off Image Expansion Mode]*	ステータスがオフの時のウィジェット内部の画像の見え方を設定します。
[Effect]*	ウィジェット外部の影の付け方を設定します。

Property	Value
[Text]	ウィジェット内のテキスト全般
[On Visible]*	ステータスがオンの時のウィジェット内部のテキストを表示するかどうかを選択します。
[On Text]	ステータスがオンの時のウィジェット内部のテキストを設定します。
[On Color]*	ステータスがオンの時のウィジェット内部のテキストの色を設定します。
[Off Visible]*	ステータスがオフの時のウィジェット内部のテキストを表示するかどうかを選択します。
[Off Text]	ステータスがオフの時のウィジェット内部のテキストを設定します。
[Off Color]*	ステータスがオフの時のウィジェット内部のテキストの色を設定します。
[Font]*	ウィジェット内部のテキストのフォントを設定します。
[Vertical Alignment]*	ウィジェット内部のテキストの垂直位置を選択します。
[Horizontal Alignment]*	ウィジェット内部のテキストの水平位置を選択します。
[Direction]*	ウィジェット内部のテキストの向きを設定します。

Property	Value
[Label]	ウィジェットのラベル全般
[Visible]*	ラベルを表示するかどうか選択します。
[Text]	ラベルを設定します。
[Font Color]*	ラベルの色を設定します。
[Font]*	ラベルのフォントを設定します。
[Position]*	ラベルの場所を選択します。
[Alignment]*	ラベルの位置を選択します。
[Margin]*	ラベルをウィジェットからどれだけ離すかを設定します。

■ SDメモリー関連

MTXやMRXに入っているSDメモリー内の曲の再生や停止などに関連するウィジェットとして以下のものがあります。

ウィジェット名	概要
[Play Info]	選択されているコンテンツに関する情報を表示します。
[Transport]	選択されているコンテンツをコントロールします。
[Track List]	再生するコンテンツを選択します。

SDメモリー関連としては他に [Direct Play Button] があります。「ボタン」の説明ページを参照してください。

● SDメモリー関連のプロパティー

SDメモリー関連のウィジェットにフォーカスがある場合に「Properties」エリアに表示されるパラメーターを説明します。ウィジェットや設定によって表示されないパラメーターもあります。

Value欄が濃い網掛けの部分は編集できません。

Propertyに*がある項目はスタイルに関する情報です。

Property	Value
[General] ウィジェット全般	
[Name]	ウィジェットの名称です。ウィジェットを先に配置して、あとでパラメーターをアサインする場合にどれをアサインするつもりなのか記入しておくことなどができます。
[Type]	ウィジェットの種類です。
[Visible]	コントロールモードのときにウィジェットを表示するかしないかを選択します。
[Control] 制御対象に関する情報全般	
[Model]	機器のモデル名です。
[Device Identifier]	機器の識別子です。UNIT IDまたはIPアドレスが表示されます。
[Position/Appearance] ウィジェットの見え方全般	
[X]	画面の左上からウィジェットの左上までの横方向の距離を設定します。
[Y]	画面の左上からウィジェットの左上までの縦方向の距離を設定します。
[Width]	ウィジェットの幅を設定します。
[Height]	ウィジェットの高さを設定します。

Property		Value
	[Lock Aspect Ratio]*	ウィジェットの縦横比を固定するかどうかを選択します。
	[Shape]*	ウィジェットの形状を選択します。
	[Corner]*	ウィジェットの角の丸みを設定します。
	[Border Style]*	ウィジェットの縁取りの種類を選択します。
	[Border Color]*	ウィジェットの縁取りの色を設定します。
	[Border Width]*	ウィジェットの縁取りの幅を設定します。
	[Gradient]*	ウィジェット内部のグラデーションの種類を選択します。
	[Color]*	ウィジェット内部の色を設定します。
	[Image]*	ウィジェット内部の画像を設定します。
	[Image Expansion mode]*	ウィジェット内部の画像の見え方を選択します。
	[Button Color]*	ウィジェット内部のボタンの色を設定します。
	[Background Color]*	ウィジェット内部の背景色を設定します。

Property		Value
	[Background Image]*	ウィジェット内部の背景画像を設定します。
	[Background Image Expansion Mode]*	ウィジェット内部の背景画像の見え方を選択します。
[Text]		ウィジェット内のテキスト全般
	[Visible]*	ウィジェット内部のテキストを表示するかどうかを選択します。
	[Text]	ウィジェット内部のテキストを設定します。
	[Color]*	ウィジェット内部のテキストの色を設定します。
	[Font]*	ウィジェット内部のテキストのフォントを設定します。
	[Vertical Alignment]*	ウィジェット内部のテキストの垂直位置を選択します。
	[Horizontal Alignment]*	ウィジェット内部のテキストの水平位置を選択します。
	[Direction]*	ウィジェット内部のテキストの向きを設定します。

Property	Value
[Label]	ウィジェットのラベル全般
[Visible]*	ラベルを表示するかどうか選択します。
[Text]	ラベルを設定します。
[Font Color]*	ラベルの色を設定します。
[Font]*	ラベルのフォントを設定します。
[Position]*	ラベルの場所を選択します。
[Alignment]*	ラベルの位置を選択します。
[Margin]*	ラベルをウィジェットからどれだけ離すかを設定します。

■ ライン

ラインのウィジェットは1種類のみです。

● ラインのプロパティ

ラインにフォーカスがある場合に「Properties」エリアに表示されるパラメーターを説明します。

Value欄が濃い網掛けの部分は編集できません。

Propertyに*がある項目はスタイルに関する情報です。

Property	Value
[General]	ウィジェット全般
[Name]	ウィジェットの名称です。
[Type]	ウィジェットの種類です。
[Visible]	コントロールモードのときにウィジェットを表示するかしないかを選択します。
[Position/Appearance]	ウィジェットの見え方全般
[X]	画面の左上からラインの引き始めた点までの横方向の距離を設定します。
[Y]	画面の左上からラインの引き始めた点までの縦方向の距離を設定します。
[Angle]	ウィジェットを配置したときの下端を基準にして、ウィジェットの角度を表示します。
[Length]	ウィジェットの長さを表示します。

Property	Value
[Style]*	ウィジェットの形状を選択します。
[Color]*	ウィジェットの色を選択します。
[Width]*	ウィジェットの幅を設定します。

■ 図形と画像

タイトル、コメントなどを配置するのに便利なウィジェットです。テキストの他にロゴなどのイメージを貼り付けることもできます。シェイプのウィジェットとして以下の物があります。

ウィジェット名	概要
[Rectangle]	四角形
[Ellipse]	円形
[Polygon]	多角形
[Image]	アイコンや模様などの画像を表示します。

多角形はウィジェットを右クリックすることで角数の変更や形状の変更ができるようになります。角数を増やす場合は増やしたいところを右クリックしてください。角数を減らす場合は減らす頂点を右クリックしてください。

● 図形と画像のプロパティ

図形や画像にフォーカスがある場合に「Properties」エリアに表示されるパラメーターを説明します。ウィジェットや設定によって表示されないパラメーターもあります。

Value 欄が濃い網掛けの部分は編集できません。

Property に * がある項目はスタイルに関する情報です。

Property	Value
[General]	ウィジェット全般
[Name]	ウィジェットの名称です。ウィジェットを先に配置して、あとでパラメーターをアサインする場合にどれをアサインするつもりなのか記入しておくことができます。
[Type]	ウィジェットの種類です。
[Visible]	コントロールモードのときにウィジェットを表示するかしないかを選択します。
[Position/Appearance]	ウィジェットの見え方全般
[X]	画面の左上からウィジェットの左上までの横方向の距離を設定します。
[Y]	画面の左上からウィジェットの左上までの縦方向の距離を設定します。
[Width]	ウィジェットの幅を設定します。
[Height]	ウィジェットの丈を設定します。

Property	Value
[Lock Aspect Ratio]*	ウィジェットの縦横比を固定するかどうかを選択します。
[Corner]*	ウィジェットの角の丸みを設定します。
[Shape]	ウィジェットの形状を選択します。
[Border Style]*	ウィジェットの縁取りの種類を選択します。
[Border Color]*	ウィジェットの縁取りの色を設定します。
[Border Width]*	ウィジェットの縁取りの幅を設定します。
[Gradient]*	ウィジェット内部のグラデーションの種類を選択します。
[Color]*	ウィジェット内部の色を設定します。
[Image]*	ウィジェット内部の画像を設定します。
[Image Expansion Mode]*	ウィジェット内部の画像の見え方を選択します。
[Effect]*	ウィジェット外部の影の付け方を設定します。

Property	Value
[Text]	ウィジェット内のテキスト全般
[Visible]*	ウィジェット内部のテキストを表示するかどうかを選択します。
[Text]	ウィジェット内部のテキストを設定します。
[Color]*	ウィジェット内部のテキストの色を設定します。
[Font]*	ウィジェット内部のテキストのフォントを設定します。
[Vertical Alignment]*	ウィジェット内部のテキストの垂直位置を選択します。
[Horizontal Alignment]*	ウィジェット内部のテキストの水平位置を選択します。
[Direction]*	ウィジェット内部のテキストの向きを設定します。

■ 数値の表示と入力

パラメーターの現在値を表示したり、直接入力できるウィジェットです。数値のウィジェットとして以下のものがあります。

ウィジェット名	概要
[Value]	パラメーターの現在値を表示します。
[Line Edit]	パラメーターの数値を直接入力します。

● 数値のプロパティ

数値にフォーカスがある場合に「Properties」エリアに表示されるパラメーターを説明します。設定によって表示されないパラメーターもあります。

Value欄が濃い網掛けの部分は編集できません。

Propertyに*がある項目はスタイルに関する情報です。

Property	Value
[General]	ウィジェット全般
[Name]	ウィジェットの名称です。ウィジェットを先に配置して、あとでパラメーターをアサインする場合にどれをアサインするつもりなのか記入しておくことなどができます。
[Type]	ウィジェットの種類です。
[Visible]	コントロールモードのときにウィジェットを表示するかしないかを選択します。

Property	Value
[Read Only]	操作できるかできないかを選択します。 [Yes]を選択すると[Value]ウィジェットのように機能します。
[Control]	制御対象に関する情報全般
[Model]	機器のモデル名です。
[Device Identifier]	機器の識別子です。UNIT IDまたはIPアドレスが表示されます。
[Parameter Address]	ウィジェットに設定されたパラメーター名です。
[Position/Appearance]	ウィジェットの見え方全般
[X]	画面の左上からウィジェットの左上までの横方向の距離を設定します。
[Y]	画面の左上からウィジェットの左上までの縦方向の距離を設定します。
[Width]	ウィジェットの幅を設定します。
[Height]	ウィジェットの高さを設定します。
[Lock Aspect Ratio]*	ウィジェットの縦横比を固定するかどうかを選択します。
[Shape]*	ウィジェットの形状を選択します。
[Corner]*	ウィジェットの角の丸みを設定します。
[Border Style]*	ウィジェットの縁取りの種類を選択します。

Property		Value
	[Border Color]*	ウィジェットの縁取りの色を設定します。
	[Border Width]*	ウィジェットの縁取りの幅を設定します。
	[Gradient]*	ウィジェット内部のグラデーションの種類を選択します。
	[Color]*	ウィジェット内部の色を設定します。
	[Image]*	ウィジェット内部の画像を設定します。
	[Image Expansion Mode]*	ウィジェット内部の画像の見え方を設定します。
	[Text]	ウィジェット内のテキスト全般
	[Color]*	ウィジェット内部のテキストの色を設定します。
	[Font]*	ウィジェット内部のテキストのフォントを設定します。
	[Vertical Alignment]*	ウィジェット内部のテキストの垂直位置を選択します。
	[Horizontal Alignment]*	ウィジェット内部のテキストの水平位置を選択します。

Property		Value
[Label]		ウィジェットのラベル全般
	[Visible]*	ラベルを表示するかどうか選択します。
	[Text]	ラベルを設定します。
	[Font Color]*	ラベルの色を設定します。
	[Font]*	ラベルのフォントを設定します。
	[Position]*	ラベルの場所を選択します。
	[Alignment]*	ラベルの位置を選択します。
	[Margin]*	ラベルをウィジェットからどれだけ離すかを設定します。

■ システムモニター

システムモニターのウィジェットは1種類のみです。
[System Monitor]ウィジェットをクリックすると、
[System Monitor] ウィンドウが表示され、
「ProVisionaire Monitoring Service」が収集した機器の稼働情報を確認できます。
機器に障害が発生すると色が変わります。

● システムモニターのプロパティ

システムモニターにフォーカスがある場合に「Properties」エリアに表示されるパラメーターを説明します。
Value欄が濃い網掛けの部分は編集できません。
Propertyに*がある項目はスタイルに関する情報です。

Property	Value
[General]	ウィジェット全般
[Name]	ウィジェットの名称です。ウィジェットを先に配置して、あとでパラメーターをアサインする場合にどれをアサインするつもりなのか記入しておくことなどができます。
[Type]	ウィジェットの種類です。
[Visible]	コントロールモードのときにウィジェットを表示するかしないかを選択します。

Property	Value
[Position/Appearance]	ウィジェットの見え方全般
[X]	画面の左上からウィジェットの左上までの横方向の距離を設定します。
[Y]	画面の左上からウィジェットの左上までの縦方向の距離を設定します。
[Width]	ウィジェットの幅を設定します。
[Height]	ウィジェットの高さを設定します。
[Lock Aspect Ratio]*	ウィジェットの縦横比を固定するかどうかを選択します。
[Shape]*	ウィジェットの形状を選択します。
[Corner]*	ウィジェットの角の丸みを設定します。
[Border Style]*	ウィジェットの縁取りの種類を選択します。
[Border Color]*	ウィジェットの縁取りの色を設定します。
[Border Width]*	ウィジェットの縁取りの幅を設定します。
[Gradient]*	ウィジェット内部のグラデーションの種類を選択します。
[Effect]*	ウィジェット外部の影の付け方を設定します。

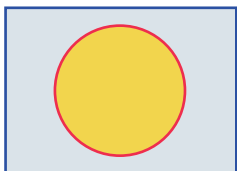
Property	Value
[Text]	ウィジェット内のテキスト全般
[Font]*	ウィジェット内部のテキストのフォントを設定します。
[Color]*	ウィジェット内部のテキストの色を設定します。
[Vertical Alignment]*	ウィジェット内部のテキストの垂直位置を選択します。
[Horizontal Alignment]*	ウィジェット内部のテキストの水平位置を選択します。
[Direction]*	ウィジェット内部のテキストの向きを設定します。
[Label]	ウィジェットのラベル全般
[Visible]*	ラベルを表示するかどうか選択します。
[Text]	ラベルを設定します。
[Font]*	ラベルのフォントを設定します。
[Font Color]*	ラベルの色を設定します。
[Position]*	ラベルの場所を選択します。
[Alignment]*	ラベルの位置を選択します。
[Margin]*	ラベルをウィジェットからどれだけ離すかを設定します。

Expansion Modeについて

「Properties」エリアの[Image]の下に[Image Expansion Mode]がある場合や「Setup」ダイアログの[Security]タブに[Expansion Mode]があります。この項目では表示領域へのイメージの配置方法を選択します。

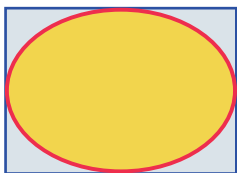
- **None**

拡大縮小せず、領域中央に配置



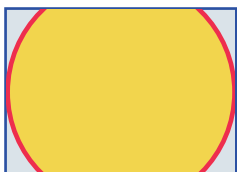
- **Full**

高さ、幅ともに領域いっぱいにフィットするように拡大縮小して表示



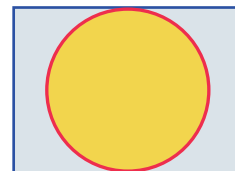
- **Aspect Fill**

高さ、幅のどちらか短い方が領域いっぱいにフィットするように拡大縮小して表示



- **Aspect Fit**

高さ、幅のどちらか長い方が領域いっぱいにフィットするように拡大縮小して表示



ダイアログやウィンドウ

ここではダイアログやウィンドウについて説明します。

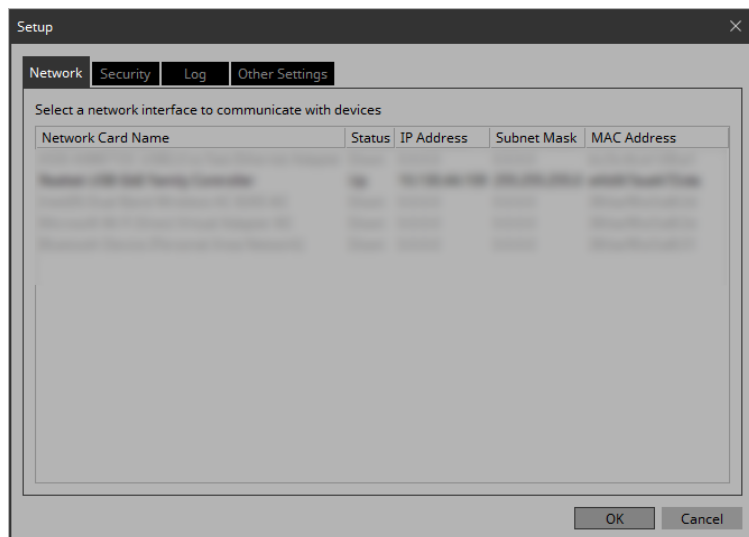
■「Setup」ダイアログ

プロジェクトやコントローラー全体に関わる設定をするダイアログです。

ProVisionaire ControlとKIOSKでは表示内容が違います。
ここではProVisionaire Controlのダイアログで説明します。

[Network]タブ

機器と通信するためのコンピュータのネットワークインターフェースカード(以下「ネットワークカード」と呼びます)を選択します。



NOTE

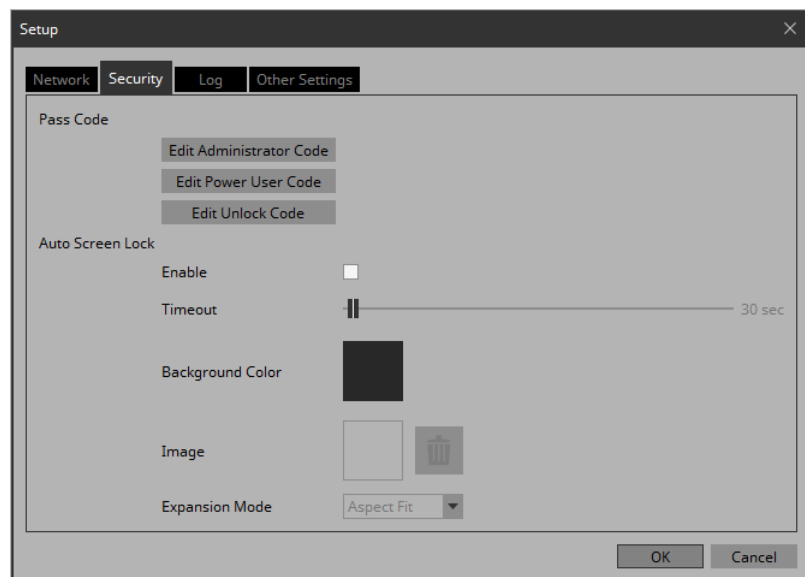
ネットワークカードは複数選択できます。複数のネットワークカードを使用する場合には、それぞれのネットワークアドレスが独立している必要があります。

ネットワークに接続されていない場合は、[Cancel] ボタンをクリックしてダイアログを閉じてください。

- **Network Card Name**
ネットワークカードの名前が表示されます。
- **Status**
ネットワークカードの状態(UpまたはDown)が表示されます。
「Down」と表示されているネットワークカードは選択できません。
- **IP AddressおよびSubnet Mask**
ネットワークカードに割り当てられているIPアドレスおよびサブネットマスクが表示されます。
ネットワークカードの設定が「IP アドレスを自動的に取得する」になっているにもかかわらず、DHCP サーバーがなくIP アドレスが割り振られていない場合は、「0.0.0.0」と表示されます。
また、ネットワークカードが物理的に結線されていない場合も、同様に「0.0.0.0」と表示されます。
- **MAC Address**
ネットワークカードのMACアドレスが表示されます。
- **[OK] ボタン**
設定を更新し、ダイアログを閉じます。
- **[Cancel] ボタン**
設定を更新せずに、ダイアログを閉じます。

[Security]タブ

セキュリティに関する設定をします。

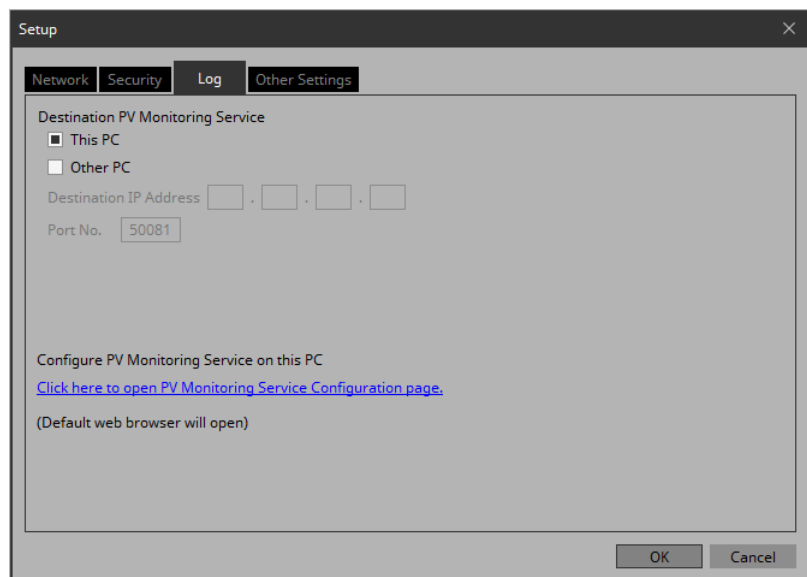


- **Pass Code [Edit Administrator Code]/[Edit Power User Code]/[Edit Unlock Code] ボタン**
クリックすると、「Edit Pass Code」ダイアログが表示されます。
初めてパスコードを入力するときは[Enter Current Pass Code]欄は空欄でパスコードを設定してください。
- **Auto Screen Lock [Enable]チェックボックス**
チェックを入れると、スクリーンロックに関する設定ができます。
- **Auto Screen Lock [Timeout]スライダー**
スクリーンロックするまでの時間を設定します。

- **Auto Screen Lock [Background Color]ボタン**
クリックすると、「Select Color」ダイアログが表示されます。イメージを画面いっぱいにならないときの背景色を設定してください。
- **Auto Screen Lock [Image]ボタン**
クリックすると、「Select Image」ダイアログが表示されます。スクリーンロック時に表示する画像ファイルを選択してください。
- **Auto Screen Lock Image ゴミ箱ボタン**
Screen Lock [Image] ボタンで設定したイメージを解除します。解除をしても、イメージはプロジェクトファイルに取り込まれたままとなります。
- **Auto Screen Lock [Expansion Mode]リストボックス**
リストの中から、表示領域へのイメージの配置方法を選択します。選択肢の内容については [「Expansion Mode について」](#) を参照してください。
- **[OK]ボタン**
設定を更新し、ダイアログを閉じます。
- **[Cancel]ボタン**
設定を更新せずに、ダイアログを閉じます。

[Log]タブ

ProVisionaire Monitoring Serviceに関する設定をします。



- **[This PC]ラジオボタン**

現在操作しているコンピューターが収集した機器の稼働情報を「System Monitor」ウィンドウで表示するようにします。

- **[Other PC]ラジオボタン**

他のコンピューターが収集した機器の稼働情報を「System Monitor」ウィンドウで表示するようにします。

- **[Destination IP Address]テキストボックス**

[Other PC]ラジオボタンを有効にした場合のコンピューターのIPアドレスを入力します。

- **[Port No.]テキストボックス**

他のコンピューターで「ProVisionaire Monitoring Service」が使用しているポート番号を入力します。インストール時の初期値は50081です。

他のコンピューターにて「ProVisionaire Monitoring Service」が使用しているポート番号を手動で変更した場合は、他のコンピューターのファイアウォールの設定も変更してください。

- **[Click here to Open PV Monitoring Service Configuration page]リンク**

クリックすると、現在操作しているコンピューターにインストールされている「ProVisionaire Monitoring Service」を設定する「ProVisionaire Monitoring Service Settings」画面を規定のWebブラウザで表示します。

Internet Explorerが規定のWebブラウザに設定されていると、表示ができませんので、他のWebブラウザを規定のWebブラウザにしてください。

- **[OK]ボタン**

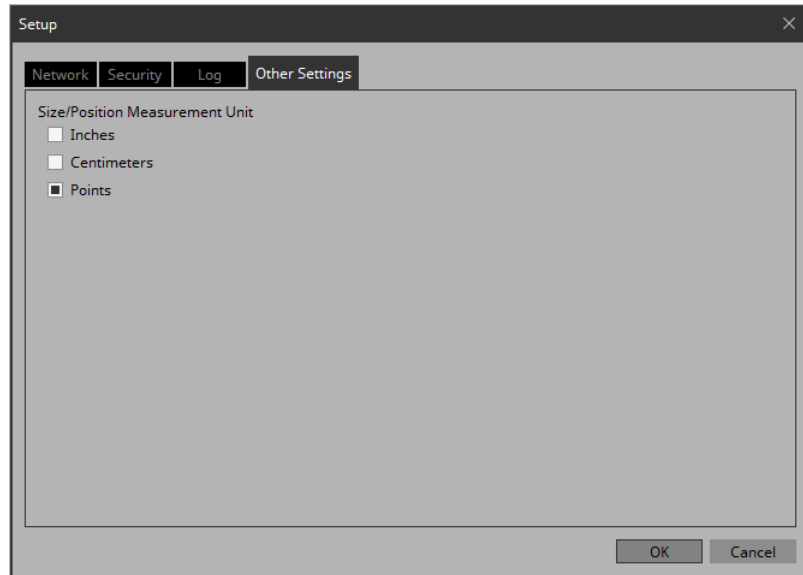
設定を更新し、ダイアログを閉じます。

- **[Cancel]ボタン**

設定を更新せずに、ダイアログを閉じます。

[Other Settings] タブ

ウィジェットのサイズや位置情報の単位を設定します。
この設定はプロジェクトファイルではなく、コンピュータに保持されます。



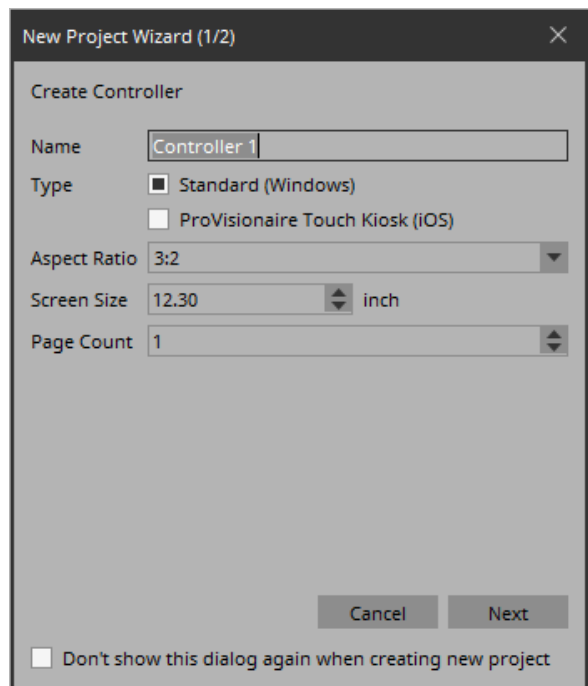
- **[Size/Position Measurement Unit] ラジオボタン**
ウィジェットのサイズや位置情報の単位を選択します。
- **[OK] ボタン**
設定を更新し、ダイアログを閉じます。
- **[Cancel] ボタン**
設定を更新せずに、ダイアログを閉じます。

■ 「New Project Wizard」 ダイアログ

新しくプロジェクトを作成するときのダイアログです。

1/2 Create Controller

コントローラーに関する設定をします。



- **[Name]テキストボックス**
コントローラーの名前を設定します。
- **[Type]ラジオボタン**
KIOSK(Windows)で使うコントローラーなのか、ProVisionaire Touch KIOSK(iPad)で使うコントローラーなのかを選択します。

- **[Aspect ratio]リストボックス**
KIOSKが動作する画面の縦横比を選択します。
この設定はあとで変更ができません。

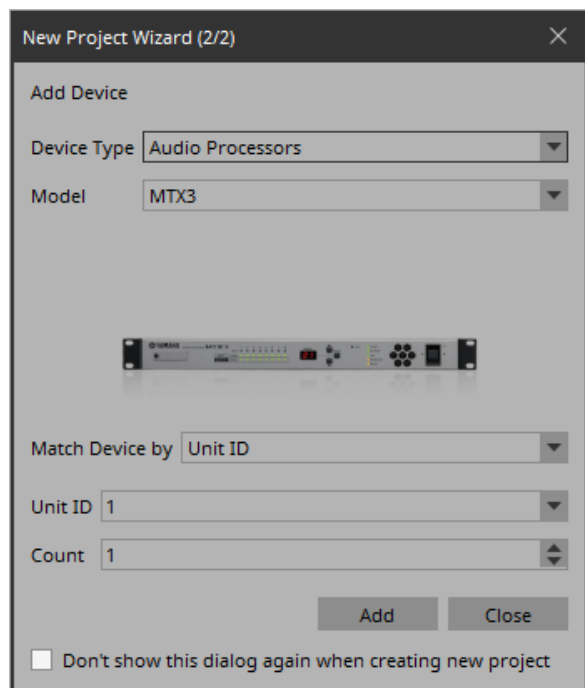
NOTE

V3.8以降は縦型のコントローラーを作成できます。

- **[Screen size]スピンボックス**
KIOSKが動作する画面の大きさを設定します。
ウィジェットの大きさや位置をcmやinchで設定するための指標となります。
- **[Page count]スピンボックス**
コントローラーのページ数を設定します。
- **[Cancel]ボタン**
設定を更新せずに、ダイアログを閉じます。
- **[Next]ボタン**
機器を設定する2/2に移動します。
- **[Don't show this dialog again when creating new project]チェックボックス**
チェックを入れると、[New Project]を実行したときに、「New Project Wizard」ダイアログが表示されないようになります。
チェックを外す場合は[New Project Wizard]を実行して、チェックを外してください。

2/2 Add Device

プロジェクトに登録する機器に関する設定をします。



- **[Device Type] リストボックス**
機器の種類を選択します。
- **[Model] リストボックス**
機器のモデル名を選択します。
- **[Match Device by] リストボックス**
機器の識別方法を選択します。
[Unit ID]を選択すると下に[Unit ID]リストボックスと[Count]スピンボックスが表示されます。

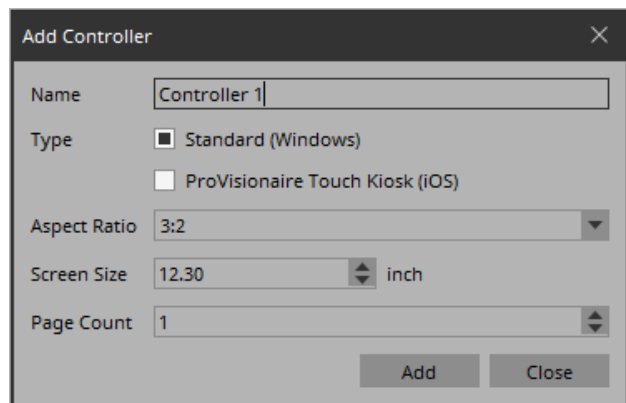
[IP Address]を選択すると下に[IP Address]テキストボックスが表示されます。

KIOSKと異なるサブネットにある機器を操作する場合は、[IP Address]を選択してください。

- **[Unit ID] リストボックス**
登録する機器の先頭UNIT IDを選択します。
- **[Count] スピンボックス**
登録する機器の台数を設定します。
- **[IP Address] テキストボックス**
登録する機器のIPアドレスを設定します。
- **[Add] ボタン**
機器を登録して、ダイアログを閉じます。
他の機器を登録する場合は、「Devices」エリアで[Add Device]を実行してください。
- **[Close] ボタン**
機器を登録せずに、ダイアログを閉じます。
- **[Don't show this dialog again when creating new project] チェックボックス**
チェックを入れると、[New Project]を実行したときに、「New Project Wizard」ダイアログが表示されないようになります。
チェックを外す場合は[New Project Wizard]を実行して、チェックを外してください。

■ 「Add Controller」 ダイアログ

プロジェクトにコントローラーを追加します。



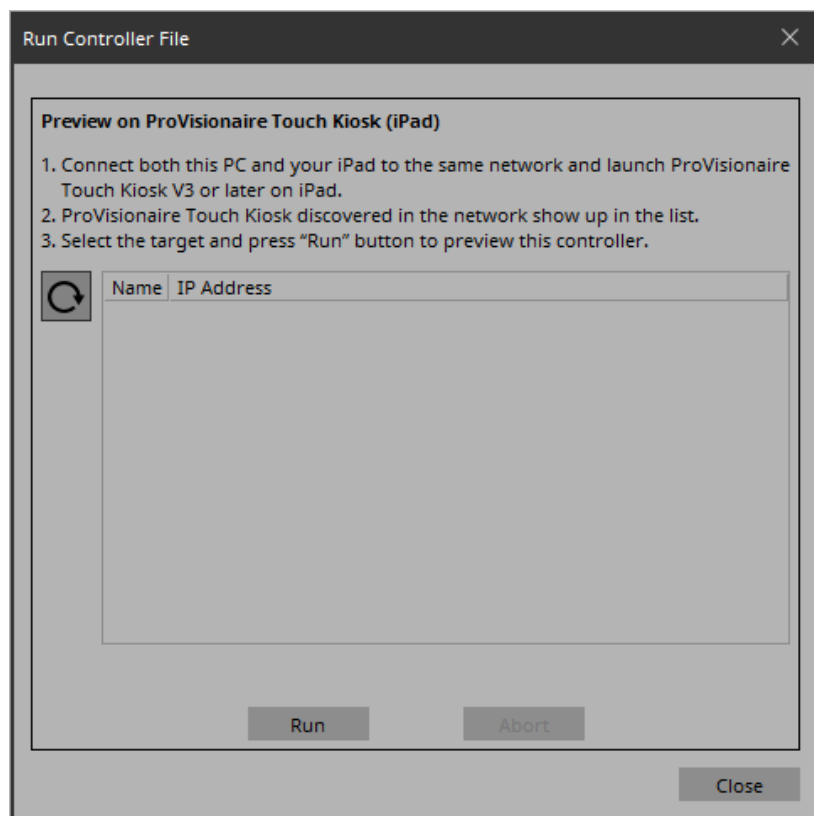
- [Page count]スピンボックス
コントローラーのページ数を設定します。
- [Add]ボタン
コントローラーを追加して、ダイアログを閉じます。
- [Close]ボタン
コントローラーを追加せずに、ダイアログを閉じます。

- [Name]テキストボックス
コントローラーの名前を設定します。
- [Type]ラジオボタン
KIOSK(Windows)で使うコントローラーなのか、
ProVisionaire Touch KIOSK(iPad)で使うコントローラーなのかを選択します。
- [Aspect ratio]リストボックス
KIOSKが動作する画面の縦横比を選択します。
この設定はあとで変更ができません。
- [Screen size]スピンボックス
KIOSKが動作する画面の大きさを設定します。
ウィジェットの大きさや位置をcmやinchで設定するための指標となります。

■ 「Run Controller File」 ダイアログ

同じネットワークにあるProVisionaire Touch KIOSKが起動しているiPadにコントローラーファイルを送信して、iPad上で実行します。

選択しているコントローラーの「Type」が「ProVisionaire Touch Kiosk (iOS)」のときに表示されます。



-  (Refresh) ボタン
iPadのリストを更新します。
- [Name]/[IP Address]
KIOSKが起動しているコンピューターと同じネットワークに接続されている、ProVisionaire Touch KIOSKが起動しているiPadの情報を表示します。コントローラーファイルを送信するときは、この欄で送信先を選択してください。
- [Run] ボタン
[Name]/[IP Address]で選択されたiPadにコントローラーファイルを送信します。受信したProVisionaire Touch KIOSKは確認画面を表示します。
- [Abort] ボタン
コントローラーファイルの送信を中断します。
- [Close] ボタン
ダイアログが閉じます。

■ 「Import Controller File」 ダイアログ

コントローラーファイルをインポートするダイアログです。

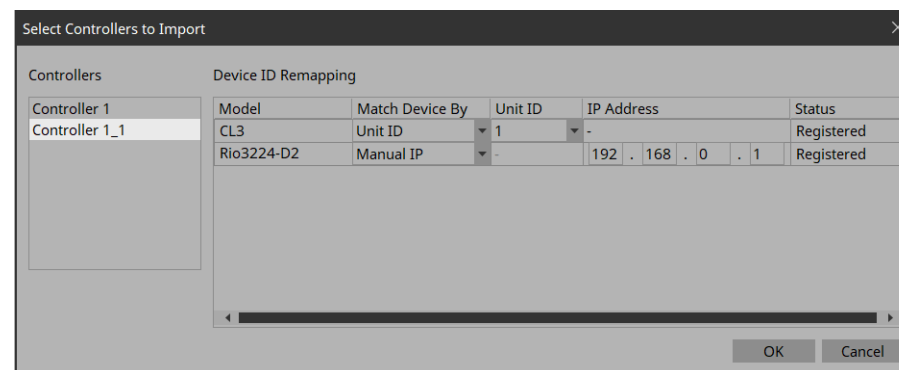
- **Leave blank if not entering a code.**

インポートするファイルに、パスコードが設定されている場合は、パスコードを入力します。

パスコードを設定していない場合は、そのままOKをクリックしてください。

■ 「Select Controllers to Import」 ダイアログ

プロジェクトファイルの中からインポートするコントローラーを選択する画面です。



- **Controllers**

プロジェクトファイルが持っているコントローラーのリストを表示します。インポートするコントローラーを選択します。コントローラーを選択すると、右側の Device ID Remapping にコントローラーの中で使用されているデバイスを一覧表示します。

- **Match Device By**

コントローラーで使われている機器の UNIT ID や Manual IP (手動で IP アドレスを設定) を変更できます。

■ [Export Controller File] ダイアログ

ProVisionaire Touch KIOSK用コントロールファイルを作成したり、ProVisionaire Touch KIOSKが起動しているiPadにコントロールファイルを送信します。選択しているコントローラーの「Type」が「ProVisionaire Touch Kiosk (iOS)」のときに表示されます。

- **[Controller Name]**

ファイルを作成するコントローラーの名称が表示されます。

- **[File Name]テキストボックス**

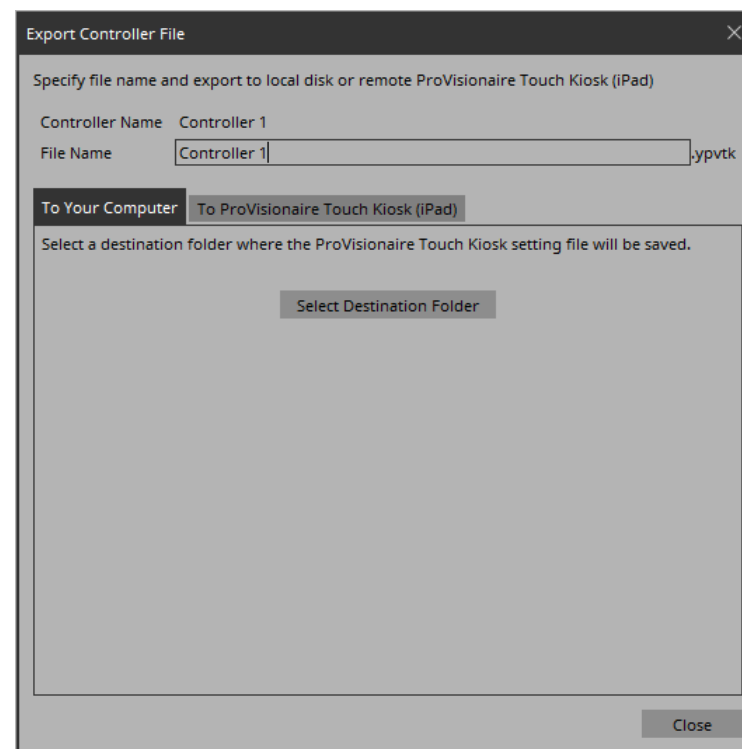
作成するファイル名を入力します。

- **[Close]ボタン**

ダイアログが閉じます。

[To Your Computer]タブ

コントロールファイルをコンピューターに保存する場合に選択します。保存したファイルはKIOSKの[File]メニューにある[Transfer Controller File]でProVisionaire Touch KIOSKが起動しているiPadに送信できます。

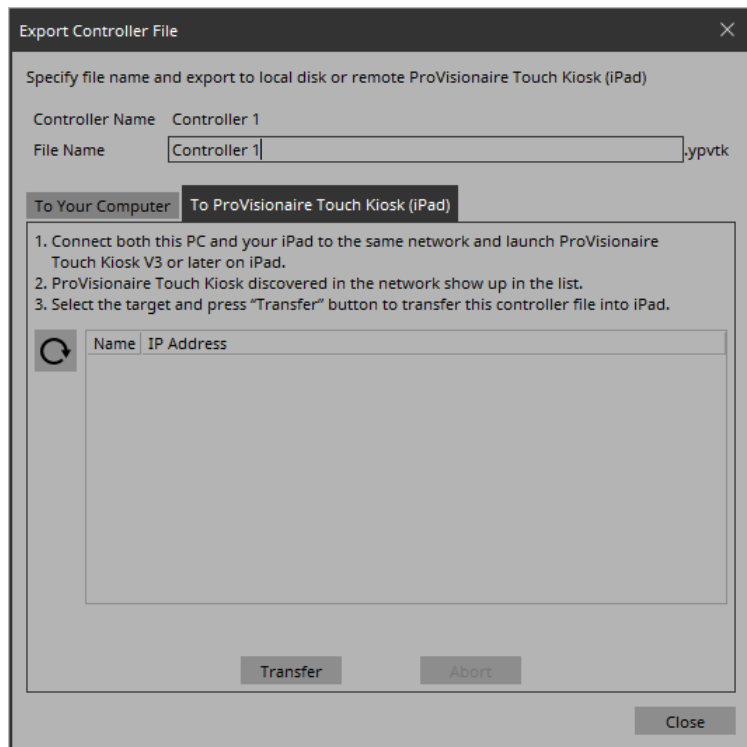


- **[Select Destination Folder]ボタン**

コントローラーファイルの保存先を選択し、保存します。

[To ProVisionaire Touch Kiosk]タブ

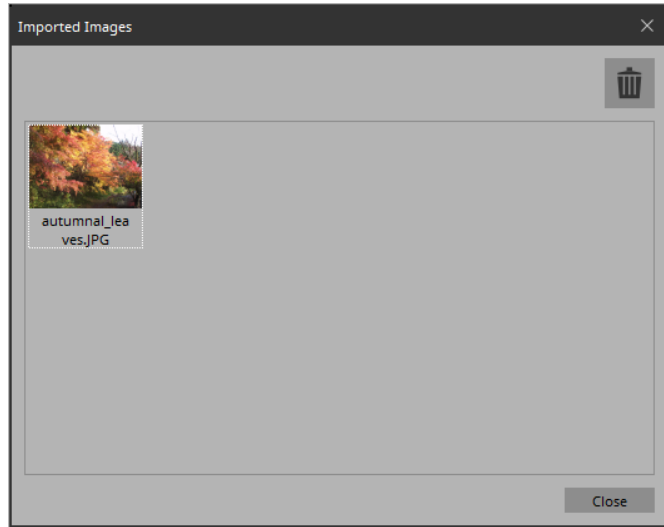
コントローラーファイルをコンピューター内に保存せずに、ProVisionaire Touch KIOSKが起動しているiPadに直接送信します。



-  (Refresh) ボタン
iPadのリストを更新します。
- [Name]/[IP Address]
ProVisionaire Controlが起動しているコンピューターと同じネットワークに接続されている、ProVisionaire Touch KIOSKが起動しているiPadの情報を表示します。コントローラーファイルを送信するときは、この欄で送信先を選択してください。
- [Transfer] ボタン
[File Name] で設定したファイル名で、[Name]/[IP Address] で選択されたiPadにコントローラーファイルを送信します。
- [Abort] ボタン
コントローラーファイルの送信を中断します。

■ 「Imported Images」 ダイアログ

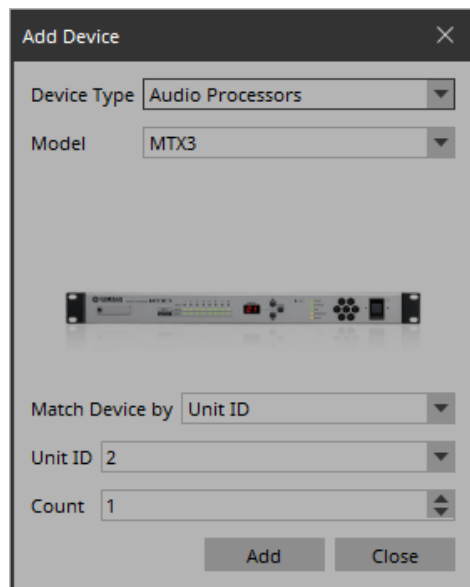
プロジェクトファイル内の画像データの確認と削除をします。



- **イメージタイル**
プロジェクトファイル内の画像データを表示します。
データを削除する場合は、削除するファイルをタイル内で選択してください。
- **ゴミ箱ボタン**
イメージタイルで選択したデータをプロジェクトファイルから削除します。
- **[Close]ボタン**
ダイアログを閉じます。

■「Add Device」ダイアログ

プロジェクトに機器を追加します。



- **[Device Type] リストボックス**
機器の種類を選択します。
- **[Model] リストボックス**
機器のモデル名を選択します。
- **[Match Device by] リストボックス**
機器の識別方法を選択します。
[Unit ID] を選択すると下に [Unit ID] リストボックスと [Count] スピンボックスが表示されます。
[IP Address] を選択すると下に [IP Address] テキストボックスが表示されます。

KIOSKと異なるサブネットにある機器を操作する場合は、[IP Address]を選択してください。

- **[Unit ID] リストボックス**
登録する機器の先頭UNIT IDを選択します。
- **[Count] スピンボックス**
登録する機器の台数を設定します。
- **[IP Address] テキストボックス**
登録する機器のIPアドレスを設定します。
- **[Add] ボタン**
機器を登録して、ダイアログを閉じます。
- **[Close] ボタン**
機器を登録せずに、ダイアログを閉じます。

■「Target Editor」ダイアログ

複数機器のパラメーターや同一機器の複数パラメーターを割り当てられたボタン(マルチボタン)のパラメーター情報を表示/変更します。

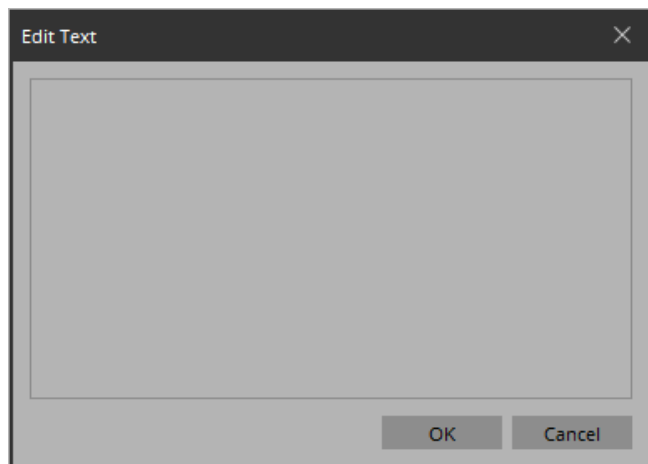
No.	Model	Device Identifier	Parameter Address	Channel (X)	Channel (Y)	On Value	Off Value	Clear
1	TF-RACK	192.168.0.3	Input Ch On	CH 1		ON	OFF	🗑
2	TF-RACK	192.168.0.3	Input Ch On	CH 2		ON	OFF	🗑
3	TF-RACK	192.168.0.3	Input Ch On	CH 3		ON	OFF	🗑
4	TF-RACK	192.168.0.3	Input Ch On	CH 4		ON	OFF	🗑
5	TF-RACK	192.168.0.3	Input Ch On	CH 5		ON	OFF	🗑
6	TF-RACK	192.168.0.3	Input Ch On	CH 6		ON	OFF	🗑
7	TF-RACK	192.168.0.3	Input Ch On	CH 7		ON	OFF	🗑
8	TF-RACK	192.168.0.3	Input Ch On	CH 8		ON	OFF	🗑
9	MTX3	1	Input Ch On	CH 1		ON	OFF	🗑
10	MTX3	1	Input Ch On	CH 2		ON	OFF	🗑
11	MTX3	1	Input Ch On	CH 3		ON	OFF	🗑
12	MTX3	1	Input Ch On	CH 4		ON	OFF	🗑
13	MTX3	1	Input Ch On	CH 5		ON	OFF	🗑
14	MTX3	1	Input Ch On	CH 6		ON	OFF	🗑
15	MTX3	1	Input Ch On	CH 7		ON	OFF	🗑
16	MTX3	1	Input Ch On	CH 8		ON	OFF	🗑

- **[No.]**
割り当てられたパラメーターの番号を表示します。
- **[Models]**
割り当てられたパラメーターのモデル名を表示します。
- **[Device Identifier]**
割り当てられたパラメーターのUNIT IDまたはIPアドレスを表示/変更をします。

- **[Parameter Address]**
(「On/Off」ボタン、「Direct Set」ボタン)
割り当てられたパラメーターの種類を表示します。
- **[Channel(X)]/[Channel(Y)]**
(「On/Off」ボタン、「Direct Set」ボタン)
割り当てられたパラメーターのチャンネル番号を表示/変更をします。
- **[On Value]/[Off Value]** (「On/Off」ボタン)
ボタンがオンのときまたはオフのときに、割り当てられたパラメーターをオンにするかオフにするかを表示/変更をします。
- **[Preset/Scene/Snapshot](「Recall」ボタン)**
割り当てられたパラメーターの種類を表示します。
- **Preset/Scene/Snapshot [No.](「Recall」ボタン)**
割り当てられたパラメーターのリコール番号を表示/変更をします。
- **[Press Value](「Direct Set」ボタン)**
ボタンを押したときに設定する値を表示/変更をします。
- **[Clear]**
割り当てられたパラメーターを削除します。
- **[OK]ボタン**
設定を反映して、ダイアログを閉じます。
- **[Cancel]ボタン**
設定を反映せずに、ダイアログを閉じます。

■ 「Edit Text」 ダイアログ

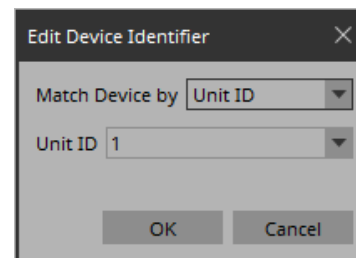
ラベルなどの文字を編集します。



- **テキストボックス**
文字の入力や編集をします。改行できるものとできないものがあります。
- **[OK] ボタン**
文字を反映して、ダイアログを閉じます。
- **[Cancel] ボタン**
文字の入力や編集を反映せずに、ダイアログを閉じます。

■ 「Edit Device Identifier」 ダイアログ

機器の識別情報を変更します。



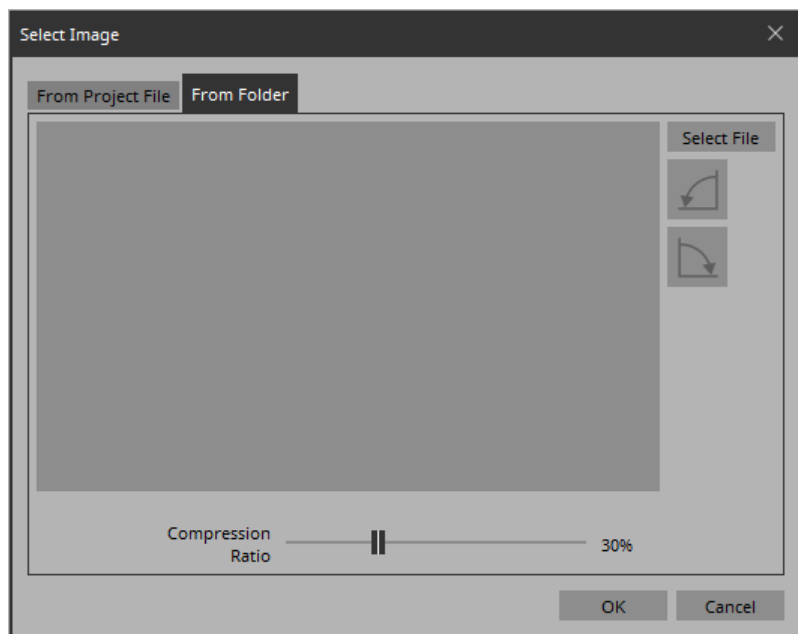
- **[Match Device by] リストボックス**
機器の識別方法を選択します。
[Unit ID]を選択すると下に[Unit ID]リストボックスが表示されます。
[IP Address]を選択すると下に[IP Address]テキストボックスが表示されます。
- **[Unit ID] リストボックス**
登録する機器の先頭UNIT IDを選択します。
- **[IP Address] テキストボックス**
登録する機器のIPアドレスを設定します。
- **[OK] ボタン**
設定を反映して、ダイアログを閉じます。
- **[Cancel] ボタン**
設定を反映せずに、ダイアログを閉じます。

■ 「Select Image」 ダイアログ

使用する画像データの選択をします。

「From Folder」タブ

コンピューターのフォルダーから画像ファイルを選択します。



- **右回りに回転ボタン**
表示されている画像を右回りに90度回転させます。
- **「Compression Ratio」スライダー**
プロジェクトファイル内に画像を取り込む際の圧縮率を設定します。
- **「OK」ボタン**
画像を反映して、ダイアログを閉じます。
- **「Cancel」ボタン**
画像を反映せず、ダイアログを閉じます。

- **「Select File」ボタン**

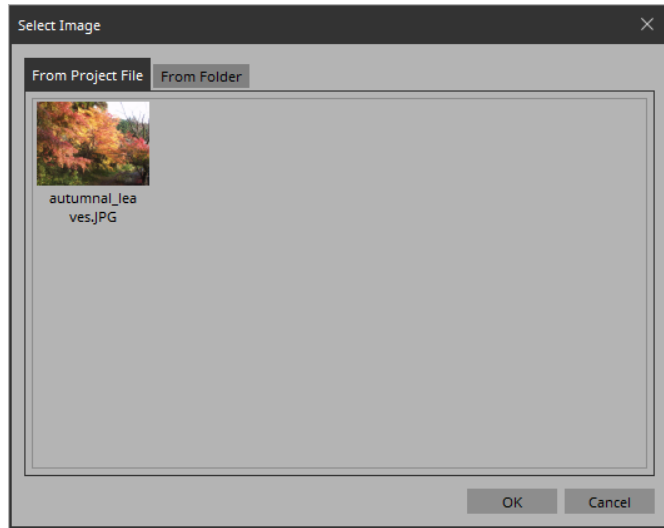
クリックすると、画像ファイルを選択するダイアログが開きます。

- **左回りに回転ボタン**

表示されている画像を左回りに90度回転させます。

[From Project File]タブ

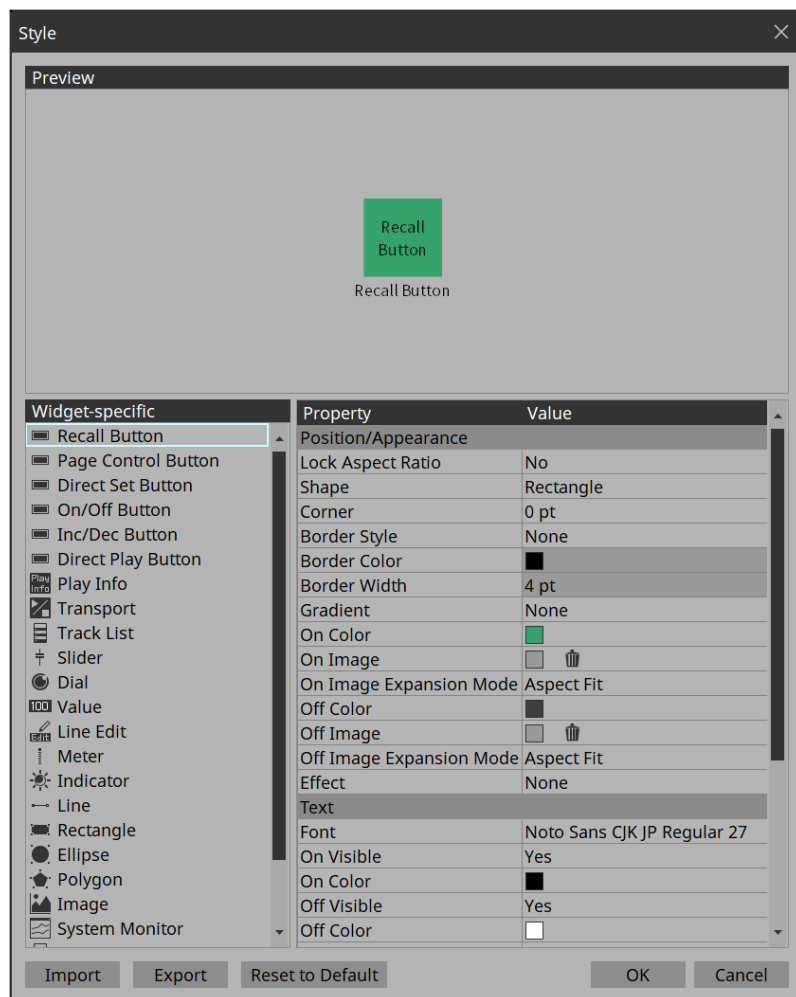
プロジェクトファイル内から画像データを選択します。



- **イメージタイル**
プロジェクトファイル内の画像データを表示します。使用する画像を選択してください。
- **[OK]ボタン**
選択した画像データを反映して、ダイアログを閉じます。
- **[Cancel]ボタン**
選択した画像データを反映せずに、ダイアログを閉じます。

■「Style」ダイアログ

プロジェクト内の各ウィジェットのスタイルの確認と変更をします。



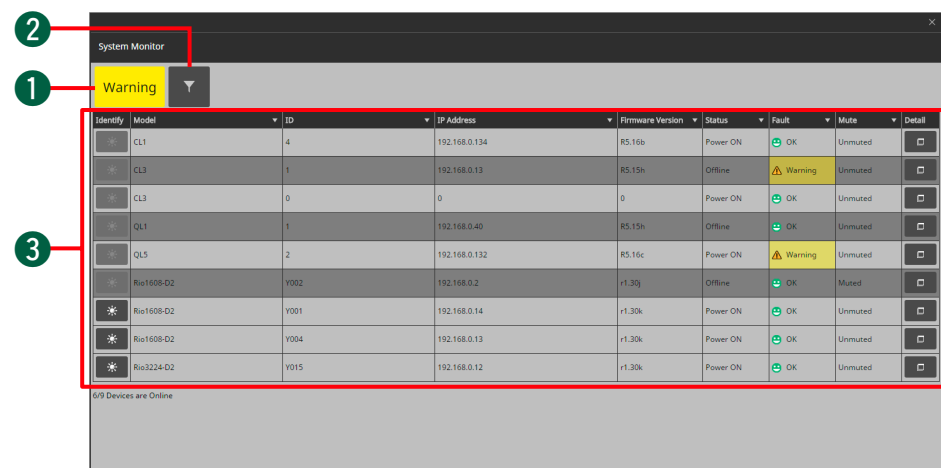
- **Preview**
Widget-specificで選択したウィジェットのスタイルでの形状等を表示します。
- **Widget-specific**
ウィジェットを選択すると、Previewのウィジェットが切り替わり、右側にそのウィジェットのスタイルの情報が表示されます。
- **Property/Value**
選択されているウィジェットのスタイル情報です。編集もできます。
- **[Import] ボタン**
スタイルの情報を読み込んで上書きします。
- **[Export] ボタン**
現在のスタイルの情報をファイルとして保存します。
- **[Reset to Default] ボタン**
インストール直後のスタイルに戻します。
- **[OK] ボタン**
変更を反映させて、ダイアログが閉じます。
- **[Cancel] ボタン**
変更を反映させずに、ダイアログが閉じます。

■「System Monitor」 ウィンドウ

ProVisionaire Monitoring Serviceが収集した機器の稼働情報を表示します。

機器一覧

接続している対応機器を一覧で表示します。
各欄にある[▼]をクリックすることでソートやキーワードによるフィルタリングができます。



Identity	Model	ID	IP Address	Firmware Version	Status	Fault	Mute	Detail
CL1		4	192.168.0.134	R5.16b	Power ON	OK	Unmuted	
CL3		1	192.168.0.13	R5.15h	Offline	Warning	Unmuted	
CL3		0	0		Power ON	OK	Unmuted	
QL1		1	192.168.0.40	R5.15h	Offline	OK	Unmuted	
QL5		2	192.168.0.132	R5.16c	Power ON	Warning	Unmuted	
Rio1608-D2		Y002	192.168.0.2	r1.30j	Offline	OK	Muted	
Rio1608-D2		Y001	192.168.0.14	r1.30k	Power ON	OK	Unmuted	
Rio1608-D2		Y004	192.168.0.13	r1.30k	Power ON	OK	Unmuted	
Rio3224-D2		Y015	192.168.0.12	r1.30k	Power ON	OK	Unmuted	

6/9 Devices are Online

① ステータスインジケータ

接続している機器全体で最も高いレベルの障害を表示します。
障害がなければ「OK」と表示されます。

② フィルターボタン(▼)

障害が発生している機器のみを表示させます。

③ 機器一覧

[Identify] ボタン

クリックすると機器のインジケータが数秒間点滅します。

[Model]

機器のモデル名を表示します。

[ID]

機器のUNIT IDを表示します。

[IP Address]

機器のIPアドレスを表示します。

[Firmware Version]

機器のMAINファームウェアバージョンを表示します。

[Status]

機器の電源が入っているのかいないのか、オンラインなのかどうかを表示します。

[Fault]

機器で発生している障害を表示します。

[Mute]

障害によって機器がミュート状態になったかどうかを表示します。機器の状態によっては自動的にミュートしたり、ミュートを解除したりします。

[Detail] ボタン

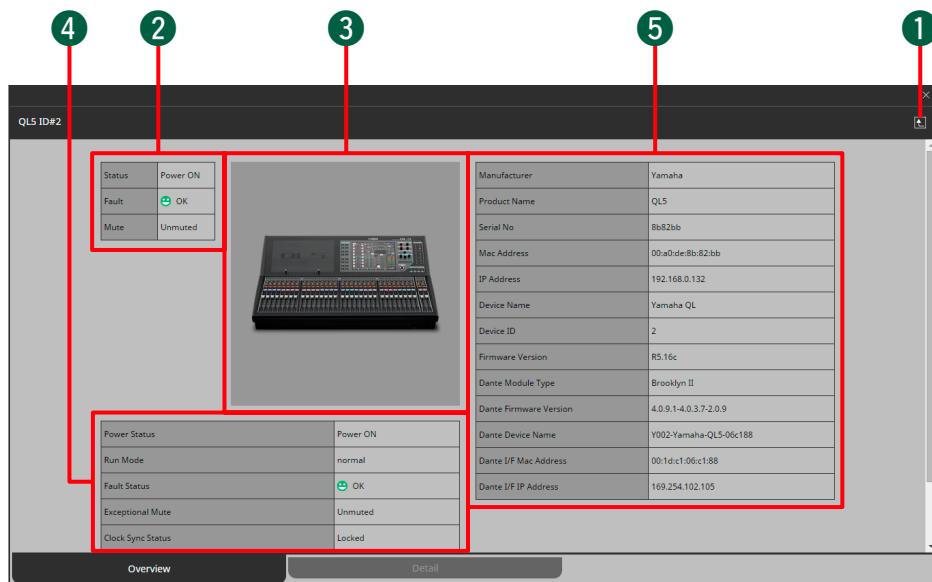
機器の詳細情報を表示します。

機器詳細

機器の詳細な情報を表示します。

Overviewで機器の情報を、Detailで機器の稼働情報を表示します。

• [Overview]タブ



① バックボタン()

機器一覧に戻ります。

② 機器の状態要約

機器の状態を簡易表示します。

③ 機器のイメージ

現在見ている機器の画像を表示します。

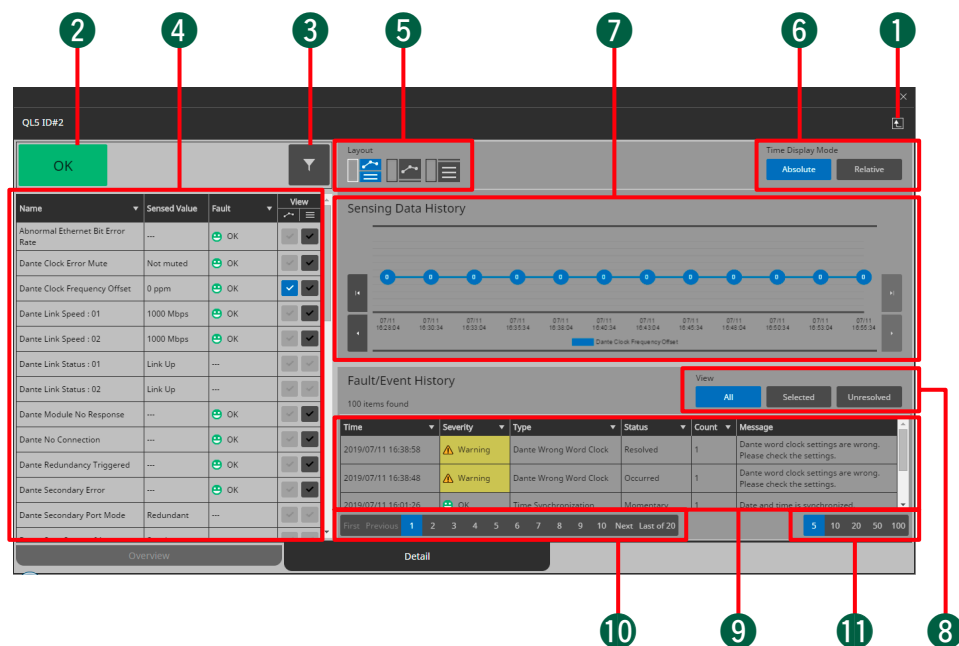
④ 機器全体のステータス

機器全体のステータスを簡易表示します。

⑤ 機器のプロフィール

ファームウェアのバージョンなど、機器のプロフィールを表示します。

• [Detail]タブ



① バックボタン()

機器一覧に戻ります。

② ステータスインジケータ

機器で最も高いレベルの障害を表示します。障害がなければ「OK」と表示されます。

③ フィルターボタン()

障害が発生している項目のみを表示させます。

④ 項目一覧

監視している稼働情報の一覧です。各欄にある[▼]をクリックすることでソートやキーワードによるフィルタリングができます。

[Name]

監視している稼働情報の項目名です。

[Sensed Value]

稼働情報を表示します。

[Fault]

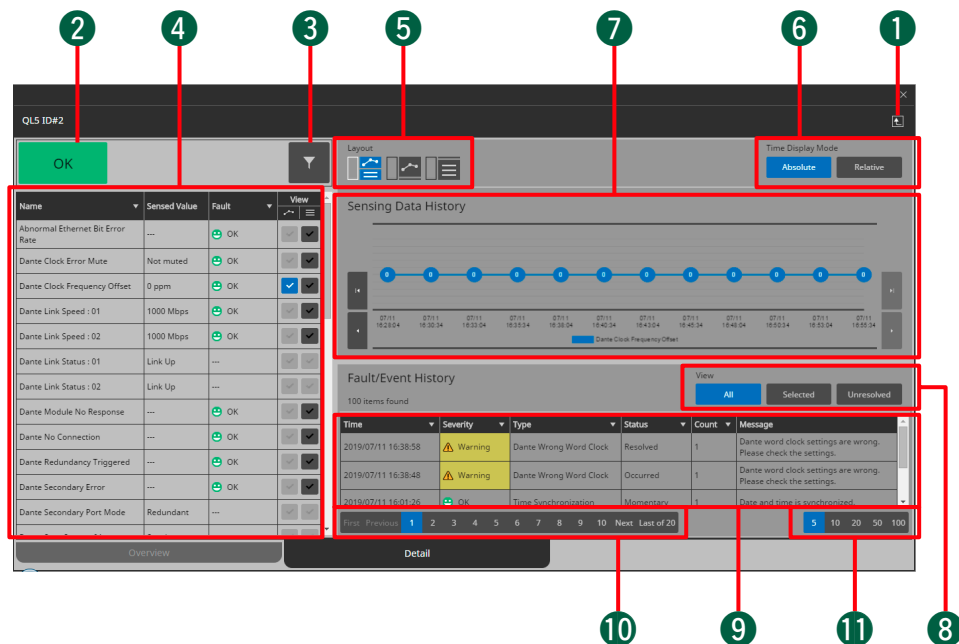
機器で発生している障害を表示します。

[View]

「Sensing Data History」や「Fault/Event History」で表示する項目にチェックを入れます。

⑤ [Layout]ボタン()

「Sensing Data History」や「Fault/Event History」の表示レイアウトを切り替えます。



6 Time Display Mode

「Sensing Data History」グラフや「Fault/Event History」表示する時間情報の種類を選択します。[Absolute]は日付や時分秒であらわされる絶対時刻で表示し、[Relative]は機器の通算起動回数と起動からの経過時間で表示します。

7 「Sensing Data History」グラフ

項目一覧の[View]でチェックを入れた項目をグラフ表示します。

[<] / [<] ボタン

現在表示しているより前の時間帯を表示します。

[>] / [>] ボタン

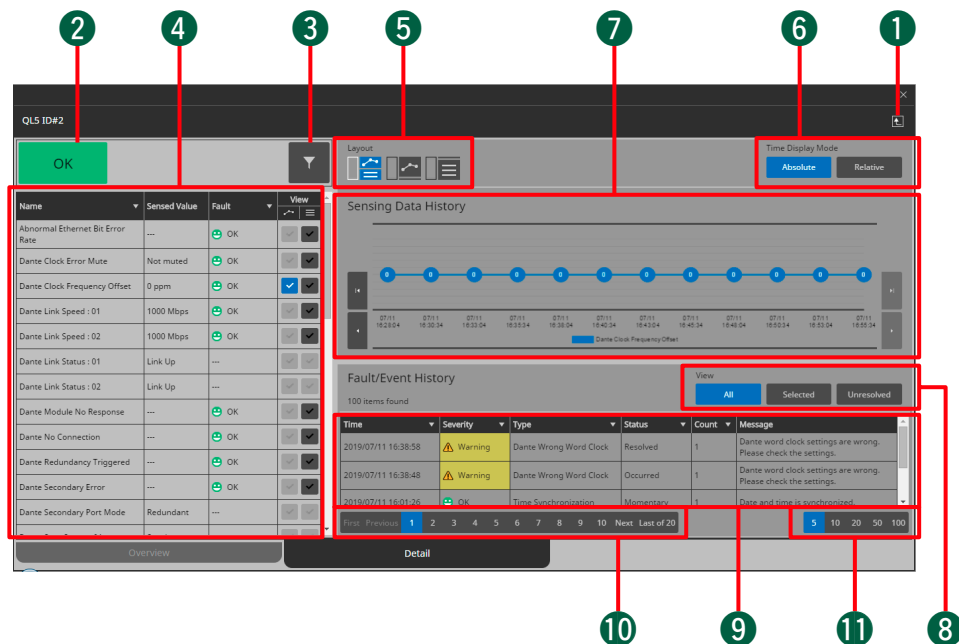
現在表示しているより後の時間帯を表示します。

8 View [All]/[Selected]/[Unresolved] ボタン

[All]を選択すると、ProVisionaire Monitoring Serviceに保存しているすべての障害やイベントの情報を表示します。

[Selected]を選択すると、項目一覧の[View]でチェックを入れた項目の情報を表示します。

[Unresolved]を選択すると、解決していない障害やイベントの情報のみを表示します。



9 項目一覧

発生した障害やイベントの情報を表示します。各欄にある[▼]をクリックすることでソートや表示する項目の選択ができます。

[Time]

障害やイベントが発生した日時を表示します。

[Severity]

発生した障害やイベントの重大度を表示します。

[Type]

どんな障害やイベントが発生したのか表示します。

[Status]

障害の現在の状態を表示します。

[Count]

次の障害やイベントが発生する前に、発生した同一障害やイベントの発生回数を表示します。

[Message]

発生した障害の詳細情報を表示します。

10 ページネーションボタン

項目一覧に表示する障害やイベントの情報を切り替えます。

11 表示項目数変更ボタン

項目一覧に表示する障害やイベントの最大数を設定します。

■ [ProVisionaire Monitoring Service Settings] 画面

コンピュータにインストールされているProVisionaire Monitoring Serviceの設定をします。

この画面を開くには、「Setup」ダイアログの[Log]タブのリンクをクリックして開く方法と、Windowsの[スタート]メニュー→[Yamaha ProVisionaire Monitoring Service]→[ProVisionaire Monitoring Service]を選択して開く方法の2種類があります。

ProVisionaire Monitoring Service Settings Ver 1.0.0

SAVE

Select a network interface to communicate with devices

Bluetooth Device (Personal Area Network)

0.0.0.0 / 0.0.0.0
38:BA:F8:E3:A8:31

ProVisionaire Monitoring Service automatically discovers all devices in the same network segment. In order to monitor the devices in other segment, specify their IP address here:

Add IP Address

Date Time Format

YYYY/MM/DD hh:mm:ss

e.g.)
For Fault/Event History
2019/08/01 17:00:08
For Sensing Data History
08/01 17:00:08

Advanced ▲

TCP port number for view of ProVisionaire Monitoring Service

50081

TCP port number for data collection of ProVisionaire Monitoring Service

50080

- [SAVE] ボタン
ProVisionaire Monitoring Serviceに設定を反映させます。
- [Select a network interface to communicate with devices] リストボックス
機器の稼働情報を取得するのに使用するネットワークインターフェースを選択します。
- [Add IP Address] ボタン
異なるサブネットにある機器のIPアドレスと機器のモデルを入力できるようにします。
- [Date Time Format] リストボックス
「System Monitor」ウィンドウの「Sensing Data History」グラフや「Fault/Event History」の項目一覧の時間フォーマットを選択します。
- [Advanced] ボタン
詳細設定の表示/非表示を切り替えます。
- [TCP port number for view of ProVisionaire Monitoring Service] スピンボックス/テキストボックス
稼働情報を他のコンピュータに渡すためのTCPポート番号を設定します。変更した場合は、Windowsファイアウォールの設定も変更してください。初期値では「50081」が設定されています。
- [TCP port number for data collection of ProVisionaire Monitoring Service] スピンボックス/テキストボックス
稼働情報を収集するためのTCPポート番号を設定します。変更した場合は、Windowsファイアウォールの設定も変更してください。初期値では「50080」が設定されています。

IPアドレスの設定方法

以下の手順で機器を接続するコンピュータのネットワークインターフェースカードのIPアドレスを設定してください。

1. 「ネットワーク接続」を開く。

スタートボタン右側の検索ボックスまたはCortanaにncpa.cplと入力して、「ネットワーク接続」を開きます。

2. システムに接続するインターフェースカードを右クリックして、[プロパティ]を選択する。

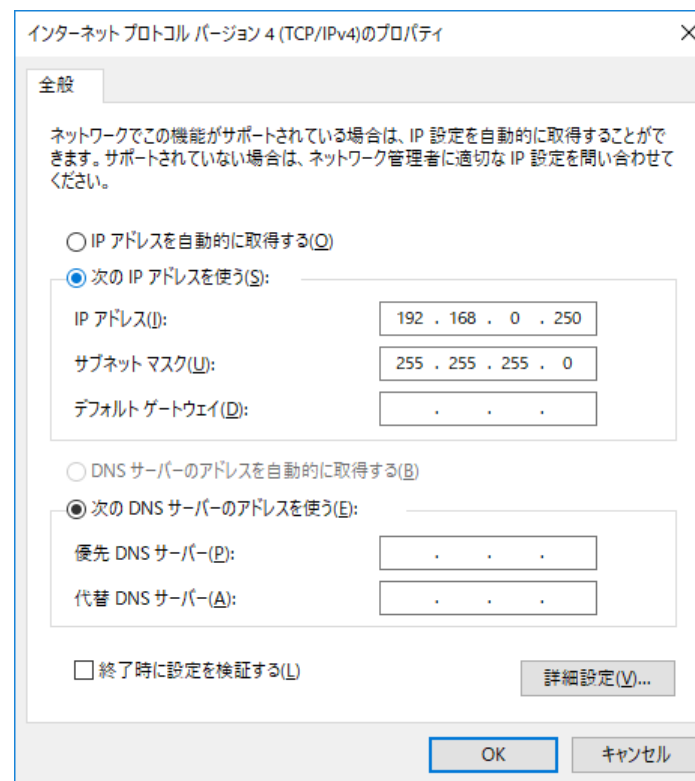
3. [インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)]をクリックして、[プロパティ]ボタンをクリックする。

4. [次のIPアドレスを使う]ラジオボタンを選択する。

5. IPアドレスとサブネットマスクを設定する。

機器のIPアドレスが192.168.0.xの場合、同じサブネットの場合は192.168.0.250などをIPアドレスに設定して、サブネットを255.255.255.0としてください。

異なるアドレスを使う場合は、使用できるIPアドレスとサブネットマスクの値をネットワーク管理者に確認してください。



6. [OK] ボタンをクリックする。

「インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)のプロパティ」ダイアログが閉じます。

7. [OK] ボタンをクリックする。

インターフェースの「プロパティ」ダイアログが閉じます。

以上で、設定完了です。

Tips

プロジェクトを作成するときに知っておくと便利なことを紹介します。

Q: 同じデザインのウィジェットを複数作りたい。

A: 1つウィジェットをデザインしたあと、ウィジェットをコピー & ペーストしてカテゴリーを書き換える、または [Copy Style] をして [Paste Style] したあとにパラメーターをドラッグ&ドロップすることで、同一デザインのウィジェットを複数作れます。
同じウィジェットはすべて同じデザインにするのであれば、スタイルとして登録することでデフォルトデザインにすることができます。
また、Group化、RepeatやDuplicate to Other Channelsなどの機能を利用することで作業の効率を上げることができます。

Q: ウィジェットの大きさの目安はあるか？

A: スライダーのノブやダイアルのグリップの大きさを1cm程度にして、デザインしてみてください。ヤマハのCLシリーズのフェーダーのノブは幅が1cmです。
画面サイズを変更すると、既に配置されているウィジェットは追従して大きさが変化します。画面サイズを変更した場合はウィジェットの大きさも変更してください。

Q: スクリーンロックを時間経過ではなくボタン操作で行いたい。

A: 「Page Control Button」ウィジェットを配置して、「Properties」エリアの「Control」にある「Page Control Action」で[Screen Lock]を選択してください。
スクリーンロックしているときの画像を設定したい場合は、「Setup」ダイアログの[Security]タブでScreen Lock [Enable]チェックボックスにチェックを入れて、画像を設定してください。設定したあとにScreen Lock [Enable]チェックボックスのチェックを外すと時間経過によるスクリーンロックはかからなくなりますが、スクリーンロックしているときの画像設定は保持されます。ボタン操作と時間経過によるスクリーンロックは併用できます。

Q: ワークエリアのグリッドを消したい。

A: ページのプロパティの[Dot Color]でAlpha値を0にしてください。

Q: 異なるサブネットの機器を操作したい。

A: 機器を登録するときに[Match Device by]リストボックスで[IP Address]を選択してIPアドレスを設定してください。
[Unit ID]で登録した機器をIPアドレスに変える場合は、
「Devices」エリアで機器を選択し、「Properties」エリアの[Identifier]の「Value」をクリックして、「Edit Device Identifier」ダイアログで変更してください。

Q: タッチパネル式のコンピューターでKIOSKを運用する場合の注意事項は何かあるか？

A: KIOSKをフルスクリーンで運用すると、キーボードを接続しないとコンピューターのシャットダウンなどの操作ができなくなります。どこかのページに[Page Control]ボタンウィジェットを配置して、「Properties」エリアの[Page Control Action]で[Close]を選択してください。そのボタンをタップするとコントローラーファイル読み込みの画面になり、KIOSKを終了できるようになります。
また、スナップやシェイクなどの一部標準機能が動作しません。

Q: 複数のウィジェット(ボタンやスライダーなど)にアサインされたパラメーターのチャンネルを一括変更したい。

A: 選択したウィジェットのチャンネル数が同一のときは「Properties」エリアでチャンネルを一括変更できます。

困ったときは

症状	原因	対応
インストール時にPostgreSQLのユーザー名やパスワードの確認を求められるが、入力しても間違っていると表示され、先に進めることができない。	入力に誤りがある。忘れてしまった。	PostgreSQLをアンインストールしてください。また、アンインストール後に残されるデータベースのファイルにパスワードが保存されていますので、これらも削除してください。多くの場合、下記のフォルダを削除します。 C:\Program Files (x86)\PostgreSQL ご利用のOS環境によって削除するフォルダが異なる場合があります。
オンラインにならない。	ネットワークインターフェースカードの選択が間違っている。	[Setup] ダイアログで機器とつながっているネットワークインターフェースカードを選択してください。
	ネットワークインターフェースカードの設定が間違っている。	スタートボタン右側の検索ボックスまたはCortanaにncpa.cplと入力して、「ネットワーク接続」を開きます。システムに接続するネットワークインターフェースカードを右クリックして、[プロパティ]を選択して、IP/v4の設定が正しいことを確認してください。
	同時接続数の限度を超えた。	機器にはKIOSKやR Remoteなどが同時に接続できる数に限りがあります。
	機器に関する設定が間違っている。	機器の識別情報の設定とProVisionaire Controlでの機器の識別情報の設定が合っていることを確認してください。
フロート化したエリアがディスプレイに表示されない。	フロート化したエリアがディスプレイ表示領域の外に移動した。	[View]メニューの[Dock All]コマンドを実行してください。

症状	原因	対応
「System Monitor」 ウィンドウで稼働情報が表示されない。	「ProVisionaire Monitoring Service」が稼働しているコンピューターが同一ネットワーク内に3台以上接続されている。	同一ネットワーク内で「ProVisionaire Monitoring Service」が稼働しているコンピューターを2台以下にしてください。